

第七十六回帝國議會
衆議院

昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件

委員會會議錄(速記)第十九回

會議

昭和十六年二月二十四日(月曜日)午前十時
二十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長松田 正一君

理事 宇賀 四郎君理事樋口善右衛門君

坂田 道男君

田村 秀吉君

森 肇君

長野 長廣君

青木 作雄君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣

河田 烈君

外務次官

大橋 忠一君

外務省歐亞局長

阪本 瑞男君

大藏省理財局長

竹内 新平君

專賣局長官

花田 政春君

大藏書記官

梅北 末初君

大藏書記官

河野 一之君

海軍次官

豐田貞次郎君

海軍主計大佐

爲本 博篤君

陸軍少將

田中 隆吉君

陸軍主計大佐

森田 親三君

商工省振興部長

堀 義臣君

商工省鑛產局長

鈴木 英雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案

(支那事變ニ關スル臨時軍事實費支辨ノ爲

公債發行ニ關スル件)(政府提出)

臨時陸軍材料資金特別會計法中改正法律

案(政府提出)

昭和十五年法律第六十九號中改正法律案

(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付

スル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ

ル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府

提出)

○松田委員長 前會ニ引續キ開會致シマス、

前ニ一寸申上ゲテ置キタイノデスガ、今日

ハ外務省、海軍省、ソレカラ大藏省ガ出席

セラレルコトニナツテ居リマスガ、委員諸

君ノ御質問ニ對スル答辯ノ中デ、速記ヲ折

折止メテ御答辯ガアルヤウデゴザイマスカ

ラ、豫メ御承知置キヲ願ヒタイノデアリマ

ス、ソレカラハ是ハ祕密會ニデモスル事案カ

ト思ヒマスルノデ、速記ヲ止メテ部分ダケ

ハ新聞ノ發表モ見合セテ置キタイ、新聞社

ノ方ニモ申上ゲテ置キマス

○森(筆)委員 此ノ委員會ニ付託サレテ、尙

ホ審議未了ノ儘ニアルモノデ豫算ニ伴ウテ

ナクテハナラヌ法律ノ改正案ガアリマス、然

ルニ豫算ハ兩院ヲ通過シテモ、此ノ法律ノ

方デ行詰リガ出テ參リマス、豫算ノ執行

ハ出來ナクナル、相關ノ關係ガ非常ニ是

ハ重イノデアリマス、然ルニ豫算委員會

ニ對シテハ全力ヲ傾倒シテ居ラレ政府

ノ方々ガ、此ノ委員會ニ額ヲ御出シニナル

コトガ非常ニ少イ、要求シテモオイデニナ

ラヌト云フコトデハ、此ノ委員會ノ審議ヲ

進メルコトガ甚ダ困難ダト思ヒマス、委員

長ヨリ政府ノ方ニ篤ト此ノ點御注意ニナリ

マシテ、コチヲノ要求致シマシタ場合ニ於

テハ、繰合セ政府ノ方々モ御出席下サルヤ

ウニ御要求ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松田委員長 承知致シマシタ、外務省ノ

方デスガ、今外務次官ガオイデニナツテ居

リマス、御質問ノ要旨ニ基キマシテ、外務

次官ノ方デ答辯ノ出來ナイ時ニハ大臣ト差

代ツテ答辯スルコト云フコトデアリマスカ

ラ、差當リ次官ニ御質問ヲ願ヒタイト思ヒ

マス——世耕君

○世耕委員 外務省關係ニ付キマシテ二三

點此ノ際御尋ネシテ置キタイト思フノデア

リマス、最近話題ヲ投掛ケテ居リマスル松

岡外相ガ「イーデン」外相ニ宛テ「メッセー

ジ」ヲ傳達セラレタ問題デアリマスガ、此ノ

問題ヲ繞ツテ色々ナ話題ヲ投掛ケテ居ルノ

デアリマス、此ノ眞相ト、若シ差支ヘナケレ

バ其ノ内容ニ付テ此ノ際御説明ヲ願ヒタイ

ト思フノデアリマス、第二點ハ松岡外相ガ

「イーデン」外相ニ宛テ「メッセー」デ、

新聞ニ報道サレルコトガ事實トスルナラバ、

對英「メッセー」ト日獨伊樞軸ニ關スル友

邦獨伊トノ間ノ關係トシテ、ドウ云フ風ニ

當局ハ考慮サレテ居ツタカ、此ノ二點ニ付

テ先ツ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、

吾々ノ傳ヘ聞ク所ニ依リマス、松岡外相

ヨリ「イーデン」外相宛「メッセー」ハ、

過日「ワシントン」デ行ハレタ極東防備ニ關

スル英米會議ガ或ル種ノ諒解ヲ得タコト、

即チ「シンガポール」ヘ米國軍艦ノ派遣說ノ

如キ、又濠洲兵「シンガポール」到着問題、

「マレー」沖ノ機雷ノ敷設、米國ノ太平洋防

備水域設立等ニ關シテ、英國側トシテモ相

當是等協定ニ基ク完成ノ準備期間ヲ必要ト

スルカラ、是ガ準備期間中外交の經營策ト

シテ、二月初旬「イーデン」外相ハ重光駐

英大使ノ來訪ヲ求メテ、歐洲ノ戰火ガ極東

ニ波及スルガ如キコトナキヨウ日本政府ノ

自重要望ヲ述ベ、之ヲ松岡外相ニ傳達スル

ヤウニ依頼シタ、ソコデ去ル十七日重光大

使ハ之ニ對シテ「イーデン」外相不在ノ爲ニ

「ペトラ」外務次官ニ手交シタノガ即チ松

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
昭和十二年法律第八十四號中改正
法律案(支那事變ニ關スル臨時軍
事實費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)
(政府提出)(第八四號)
臨時陸軍材料資金特別會計法中改
正法律案(政府提出)(第七五號)
昭和十五年法律第六十九號中改正
法律案(支那事變ニ關スル一時賜
金トシテ交付スル爲公債發行ニ關
スル件)(政府提出)(第七八號)
昭和十六年度一般會計歲出ノ財源
ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル
法律案(政府提出)(第八二號)

岡外相ノ「メッセー」デ、其ノ内容ハ前申上ダタ「イーデン」外相カラノ傳達ニ對スル回答デアツタト云フコトガ問題ノ中心デア
ルヤウニ思フノデアリマスガ、果シテ此ノ新聞ノ報道スルガ如キ事實アリヤ如何、時局重大、殊ニ外交問題「デリケート」ノ働キヲナシツアル今日ニ於キマシテ、寧ロ此ノ間ノ眞偽ヲ明確ニスルコトガ時局柄必要デアルト存ジマシテ、一言政府ノ所信ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○大橋政府委員 本件ハ、只今世耕委員ガ申サレマシタ如クニ、過般極東ニ關シテ各種ノ「アラミシング」ナ「ニュース」ガ傳ハリマシテ、今ニモ日本ハ南進ヲ始メルノダト云フヤウナ報道ガ英國ニ傳ハリマシテ、英國ノ新聞ハソレヲ非常ニ大袈裟ニ書立テルト同時ニ、「イーデン」外相ハ重光大使ニ向ツテ、今世耕委員ノ仰シヤツタ通りニ申出ガアツタノデアリマス、ソレニ對シテ松岡外相ガヤハリ重光大使ヲ通シテ、日本ノ態度ハ決シテ斯クノ如キモノデハナイ、三國同盟其ノモノモ是レ以上戰火ヲ擴大シナイト云フ趣旨ニ依ツテ作ラレタモノデアアル、日本自ラ進ンデ戰火ヲ擴大スルドコロカ、現ニ起リツツアル所ノ紛争乃至戰火ノ如キモ、出來ルコトナラバ之ヲ收メタイ意向ガアルノダ、對佛印ノ間ノ國境紛争ノ如キモ、ヤハリ此ノ大東亞國內ニ於ケル斯クノ如キ紛争ヲ一日モ早く止メル意思デヤツテ居ルノデアツテ、別ニ他意アルモノデハナイ、支那事變ノ如キモヤハリ出來ルコトナラバ一日モ早く止メタイ、其ノ他ノ世界ノ部分ニ於テモヤハリ戰争乃至紛争ト云フモノハ、之ヲ止メ得ルモノナラバ止メル爲ニ盡力シテモ宜イノダト云フヤウナコトヲ、詰リ日

本ノ平和的ノ意圖ヲ傳ヘル意味ニ於テサウ云フ文句ヲ附加ヘタノデアリマス、是ハ松岡外務大臣ノ始終懷抱シテ居ラレル所見デア
アルノミナラズ、恐ラク日本國民ノ贊同スル所ドラウト思フノデアリマス、ソレニ基キマシテ過日石井情報部長カラ同ジヤウナ意味デ、決シテ極東ノ危機ナドト云フモノハアルモノデハナイ、日本ノ意圖ハ何處マデモ平和的意圖デアルト云フヤウナ意味ニ於テ、大體サウ云フコトニ於テ説明シタノデアリマス、ソレヲ今言フ通り最後ノ部分ガ目新シイモノデア
ルカラ、非常ニ新聞ハ大キク書立テテ傳ヘタガ爲ニ、何カ日本ガ平和的調停ヲスル意思ガアル、歐洲戰争ニ付テ調停スル意思デモアルヤウナ風ニ傳ヘタ爲ニ事ガ非常ニ大袈裟ニ傳ハツタノデアリマシテ、本來何等調停ノ申入ヲシタト云フ譯デモナケ
レバ、歐洲戰争ニ於ケル調停ニ意思表示ヲシタ譯デモナイノデアリマス、隨ヒマシテ別ニ豫メ「ドイッ」ト相談ヲシタトカ或ハ其ノ他ノ外交的措置ヲ執ツタ上ニヤツタト、サウ云フコトハ全然ナイノデアリマシテ、而シテ此ノコトハ恐ラク英國當局ガ一番能ク知ツテ居ルノデアツテ、又「ドイッ」ノ當局ニ於テモ能ク知ツテ居ルコトデアリマシ
テ、新聞紙上ニ於テハ非常ニ問題ニナツテ居リマスルガ、當局者間ニ於テハ、一點ノ疑ヒノナイ所デアリマス、隨ヒマシテ御尋ネノ第二點ノ如キ、獨伊トノ關係ノ如キモノニ付テモ、何等取立テデ申スコトハナイノデアリマス、併シ此ノ「メッセー」

是ハ「メッセー」デハアリマセス、實ハ向フカラサウ云フコトヲ言ツテ來タノニ對シテ斯ウ云フコトヲ言ヘト言ツタ回答デアリマシテ、所謂何等特別ノ「メッセー」デハ

ナイノデアリマス、ガ併シ此ノ中ニ含マレテ居ル所ノ事實ト云フモノハ、日本ノ公正ナル態度ヲ世界ニ示スコトニ於テ非常ニ宜イモノダト思ヒマスカラ、適當ナル機會ニ於テ是ハ公表スベキモノデハナイカト思ツテ居ルノデアリマス、何レ是ガ公表サレタ曉ニ於キマシテハ、今私ガ申シマシタコトヲ、更ニハツキリサセルコトガ出來ルト思ヒマス、其ノ時マデ御待テヲ願ヒタイ、斯ウ思フノデアリマス

○世耕委員 大體御趣旨ノアル所ヲ了解致シマシタガ、全ク次官ガ只今仰シヤル通り、此ノ問題ガ起ツテ以來、世界ノ外交界ニ非常ナ一ツノ波紋ヲ與ヘタコトハ事實デアリマス、殊ニ日本ノ外務省トシテハ種々ナル點ニ於テ、其ノ疑惑ヲ一掃スル熱意ヲ必要トスルノデアラウト私ハ思フノデアリマス、只今其ノ點ニ關シテ、適當ナル時期ニ内容ヲ發表シテ、其ノ疑惑ヲ一掃シタイト云フ御熱意ヲ私ハ信頼シテ、一日モ速カニ是ガ内容ノ發表アラソコトヲ希望シテ已マナイノデアリマス、私ハ此ノ際唯一言申上ゲテ置キタイコトハ、世間デハ英國ニ對スル日本人ノ感情ハ、準敵國ノ感ジヲ失ハナイノデアリマス、サウ云フ準敵國ト看做サレ得ベキ英國トノ外交交渉ハ、常ニ一點ノ疑惑ヲ起サセナイヤウナ、周密ノ外交ヲ執ルベキデハナイカト思フ、今日ノ紛糾ノ一點ハ「メッセー」デナイト仰シヤイマシタガ、重光大使ガ傳達シタ事柄ガ、今日ノ問題ヲ大キクシタノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ場合ノ兩者間ノ交渉ハ、寧ロ公明ナ態度デヤルベキデハナイカト云フコトヲ、特ニ感ゼラレルノデアリマス、往々ニシテ老獺ノ外交家ハ僅カナ間隙ヲ以テ、ソレヲ逆用シテ寧ロ相手國ヲ不利

ニスル幾多ノ實例ヲ例示スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、今後斯ウ云フ點ニ付テハ、細心ノ御留意ヲセラレタイト云フコトヲ特ニ御願ヒシタイ、殊ニ只今第二ニ御尋ネシタ點デアリマスガ、英國外務省ニ右申上ゲマシヤウナ回答ヲナサル場合ニモ、ソレノ回答ノ方法ガアラウト私ハ思フノデアリマス、逆用サレナイヤウナ外交手段ガ別ニアツタドラウト思フノデアリマスガ、此ノ點モ私ハ日本ノ外務省トシテハ、手抜カリデナカツタカト云フコトヲ言ヒタイ、尙ホ特ニ此ノ機會ニ於テ申上ゲタイコトハ、世間デハ友邦「ドイッ」ノアルコトヲ無視シテ、日本ノ外務省ハ拔駈ケノ功名ヲシタガ如ク、外國電報ナニカニモ出テ居リマス、斯クノ如キコトハ日獨伊樞軸ノ根幹ニ一ツノ惡イ氣流ヲ發生セシメルモノデアルト、深ク信ジテ疑ハナイノデアリマシテ、此ノ點ハ外務省トシテ、極力斯クノ如キ氣分ヲ一掃スルコトニ努力シテ戴キタイコトヲ希望シテ已マナイ、申スマデモナク國際間ニハ國際信義ト云フモノガアル、對英「メッセー」ノ交換ノ結果、日獨伊樞軸ノ國際信義ニ幾分デモ武ノ疑點ヲ生ゼシメルコトハ、日本ノ武士道精神ニモ反スルコトデハナイカト私ハ思フノデアリマス、殊ニ今ヤ「ドイッ」ノ勢力ガ更ニ伸ビテ、英國本土敵前上陸ノ目前ニ迫レリト云フ報道ノ盛ナル場合ニ、眞儀ハ別トシテ、斯クノ如キ話題ヲ投掛ケタコトハ、一部其ノ責任ヲ日本ノ外務省ハ負フベキデアラウト私ハ思フ、ドウゾ斯クノ如キ吾々ノ眞意ニアラザル事柄ヲ速カニ一掃サレンコトヲ、特ニ希望シテ已マナイノデアリマス、由來松岡外交ニ對シテハ、私ハ一點ノ不滿ヲ禁ゼザルヲ得ナイ、是ハ露

骨ニ申上ゲマス、松岡外相ノ率直ナル態度、外交聲明ニ對シテハ、洵ニ滿幅ノ敬意ヲ拂ヒタイノデアリマス、併シナガラ率直必ズシモ外交ノ全部デハナイト私ハ思フ、吾々ノ希望スル所ハ、寧ロ蘊蓄ノアル聲明、蘊蓄ノアル外交ヲ示シテ戴キタイ、必ズシモ松岡聲明ニアルトハ言ヒマセスケレドモ、尻ヲ捲ツテ喧嘩スルヤウナ形ノ聲明ハ、外交辭令ノ中ニ發見シタクナイノデアリマス、破鐘ノヤウナ聲明ヨリモ、唸リノアル、深ミノアル、凄ミノアル聲明ヲシテ戴キタイ、又主張ガアルナラバ、其ノ主張ヲ其ノ意味ニ於テシテ戴キタイノデアリマス、今日ノ日本ノ國力、今日ノ日本ノ兵力カラ見て、思切ツタ肚ノ据ワツタ外交交渉ガ出來得ルト私ハ思フノデアリマス、私ハ此ノ點ニ付テ、實ハ外務大臣カラ直接其ノ肚ノ底ヲ割ツタ氣持ヲ御尋ネ致シタイと思ヒマシタノデアリマスガ、貴族院ノ關係上御出席ガナイヤウデアリマスルカラ、ドウゾ大橋次官カラ只今申上ゲタコト等ヲ十分御傳達ヲ願ヒタイノデアリマス、是ハ私一己ノ考ヘバカリデナシニ、多クノ國民ハ斯ク要望シテ居ルコトヲ私ハ確信スルカラデアリマス、ドウゾ其ノ意味ニ於キマシテ十分ノ御考慮ヲ煩ハシタイト云フコトヲ希望ヲ述ベテ置キマス

尙ホ最後ニ一點、今日ノ日本ノ外務省ト云フモノハ、重大ナル任務ヲ雙肩ニ擔ハレテ居ルモノト私ハ思ヒマス、戰ハズシテ勝ツ、國力ヲ消耗セズシテ、尙ホ東亞ノ新秩序建設ヲナシ得ル所ノ其ノ鍵ヲ握ツテ居ルノハ私ハ外務省ダト思フ、此ノ意味ニ於キマシテ、圓滿且ツ敏速、而モ完備シタ外交ヲナスニ際シテハ、ドウシテモ現在ノ外務省ニ

更ニ鞏固ナ調査機關ナリ、或ハ何カノ新シイ組織ヲ持ツコトガ必要デアラウト思ヒマス、或ル意味ニ於テ外務省關係ノ以前外交官ヲシタ方等ヲ網羅シタ外交調査機關ト申シマス、或ハ組織——大キナ一團トシタ組織ヲ以テ、此ノ國難突破ノ一助タラシムルコトガ時局柄適當デアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ何カ御考ヘガアルカドウカ、此ノ際伺ツテ置キタイと思フノデアリマス

○大橋政府委員 獨伊トノ關係ニ影響シヤシナイカト云フ點ハ、前ニモ御答ヘ申シマシタ通り、其ノ當時周密ナル手續ヲ執リマシテ、何等其ノ間ニ蟠リハナイヤウニナツテ居リマスルカラ、御安心ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ日本ニ所謂歐洲戰爭ニ調停ヲスル意思ガアルガ如ク、誤報サレタガ爲ニ、不當ニ新聞紙上ヲ賑ハシタト云フ點ハ成程遺憾ナコトデアリマスガ、併シ同時ニ斯様ナコトニ依リマシテ、所謂狼來レリト云フ非常ニ神經衰弱ノヤウナ叫ビガ舉ゲラレタコトニ對スル緩和劑トシテハ、一種ノ役ヲ果シマシテ、今日ハ寧ロ鎮靜ニ歸シテ居ル、勿論華府ニ於ケル會議デアルトカ、或ハ「シンガポール」ニ兵隊ヲ揚ゲルトカ、各種ノ報道ガアルノデアリマス、私ハ斯クノ如キ聲ヲ大ニシタ報道ト云フモノハ餘リ重キヲ置キマセス、併シナガラ斯クノ如ク事態ノ誤レル觀測ノ下ニ、向フデ各種ノ措置ヲ執ルト云フコトハ、コチラニ於テモ更ニ措置ヲ執ラナクチャナラヌヤウニナツテ來ル、是ハ其ノ結果ハ甚ダ面白カラザルモノデアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテオ互ヒニ時局ヲアリノ儘ニ判斷シテ——現實ノ事態ニ基イテ判斷シテ、措置ヲ執ラ

スト不測ノ災害ヲ來ス、此ノ意味ニ於キマシテ松岡外務大臣カラ「イーデン」ニ對スル言葉モ出ルコトナリ、情報局アタリデサウ云フヤウナ意味ニ於テ誤解ヲ説イタ次第デアリマス、其ノ意味ニ於テ大體其ノ目のハ達セラレテ居ルモノト思フノデアリマス、ソレカラ所謂松岡外交ナルモノニ對スル御批評ニ付キマシテハ、大臣ニ御傳ヘ致シマス、併シナガラ本件ニ關スル限リハ、別ニ尻ヲ捲ツテ喧嘩スルコト云フヤウナモノデハナク、寧ロ我方ノ三國同盟ノ趣旨ニ基イテ平和的ノ意圖ト云フモノヲ非常ニ明カニシタモノデ、ソレガ發表サレタ場合ニハ其ノコトヲ御承知ニナルト思フノデアリマス、成程世耕委員ノ仰シヤル通り、今日ノ日本ノ地位ト云フモノハ非常ナ有利ナ地位ニ立ツテ居ルノデアリマス、殊ニ此ノ地理的ノ地位ト云フモノハ、歐米列強ニ於テモ非常ニ有利ナモノデアルト云フコトヲ認メテ居ル次第デアリマス、又我が國ハ強大ナル陸海軍武力ヲ持ツテ居リマシテ、又世界ニ無比ナル國體ヲ持ツテ居リマシテ其ノ關係上、私ハ支那事件デ多少ノ消耗ヲシテ居ルニ拘ラズ、日本ノ立場ハ非常ナ有利ナモノデアルト思ヒマス、隨テ何モ吾々ハ驚クコトハナイ、ドウシテ足ラ地ニ踏ミ締メマシテ、強イ外交ヲ得ルモノデアルト確信シテ居リマス、今後モ其ノ決心ヲ以テ進ミタイト吾々ハ思ツテ居ルノデアリマス

フモノハドウモ「セクシヨナリズム」ニ走ル傾向ガアル、ソコデ此ノ「セクシヨナリズム」ヲ打破致シマシテ、サウシテ一ツノコトヲ一所ニ纏メテ、ソレヲ各部局ニ於テ自由ニ利用スルト云フヤウナ組織ニシナケレバナラスト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、此ノ外務ノ機構ニ付テモ、目下根本的ニ之ヲヤリ直サウト云フ決心ヲ以テマシテ、只今研究中ナノデアリマス、サウ云フ場合ニ只今ノ御意見モ參考ニシテ善處シタイト斯ウ思フノデアリマス

○世耕委員 御説明ニ依ツテ大體了承致シマシタ、只今ノ問題ニナツテ居リマシタ中デ、日本ガ歐洲戰亂ノ平和調停ニ乗出スト云フコトニ付テハ、私ハ決シテ反對デハナイ、建國以來日本ノ國家ガ常ニ平和ヲ愛シ、殊ニ我が皇室ニ於カセラレテハ、平和ヲ求メラルルコト萬世變リナイノデアリマス、「ヨーロッパ」ノ戰亂ニ對シテ、一日モ速カニ平和ヲ來ランコトヲ要求セラルルコト、竝ニ其ノ點ニ觸レテ外務省ガ斡旋ヲスルト云フコトニ付テハ、私ハ反對デハゴザイマセス、寧ロソレヲ希望致シテ居リマス、又今日ノ世界情勢カラ見て、「アメリカ」ハ餘リニモ歐洲戰亂ニ對シテ介入シ過ギテ居リマス、平和調停ノ寧ロ適役ハ、將來日本ヲ置イテナカラウト云フコトハ、吾々ノ深信ズル所デアリマス、唯平和調停ヲスル其ノ關係ノ相手國タル獨伊ハ吾々ノ友邦デアリマス、其ノ友邦ニ十分ノ理解ト交渉ヲ遂ゲタ後スルノガ私ハ必要デヤナイカト思フ、所謂平和調停ニ乗出ス準備トシテ、其ノ手續ヲ誤ラザランコトヲ切望シテ已マナイノデアリマス、尙ホ又大橋次官ノ御話デ、私ノ言葉ノ中ニ尻ヲ捲ルト云フヤウナ言葉ヲ

申上ゲタニ付テ、御觸レニナツテ居ツタヤ
ウデアリマスガ、實ハ其ノ點ニ付テハ、唯率直
ハ宜イケレドモ、蘊蓄ノアル外交辭令ヲシ
テ欲シイト云フコトノ形容詞トシテ、私ハ
申上ゲタノデアリマスカラ、其ノ點ハ御諒
解ヲ戴キタイと思フノデアリマス、只今申
上ゲマシタ如ク、今日ノ「メッセー」ノ問
題ノ如キモ、要ハ私ハ言葉ガ足ラナカツタ
ト思フ、言葉ノ足りナイ所ニ誤解ヲ生ジ、
或ハソレヲ逆用サレタ嫌ヒガアルドラウト
思ヒマス、ダカラサウ云フヤウナ點ニ關シ
テモ、逆用ノ出來ナイ、曲解ノ出來ナイ周
密ナル外交辭令ヲ御出シ願ヒタイ、動モス
レバ緊迫シテ居ル所ノ國際情勢ニ於テ、逆
用ガ如何ナル結果ヲ持チ來スカモ知レヌ危
險性ヲ十分伴ツテ居リマスカラ、特ニ此ノ
點ヲ御願ヒシテ已マナイノデアリマス、尙
ホ最後ニ次官カラ近キ將來ニ於テ、此ノ紛
淆ノ内容ヲ公表ナサルト云フ御話デアリマ
スガ、出來得ル限り敏速ニ近イ時間内ニ於
テ、是ガ公表ヲサレンコトヲ切望致シマシ
テ、外務省ノ方ノ質問ハ終リマス

○松田委員長 世耕君ノ質問ニ關聯シテ、
マダ數人ノ方カラ外務省ニ對シテ質問ガア
ルノデゴザイマスガ、大藏大臣ガ御見エニ
ナリマシタガ、他ノ方ニ御急ギノヤウデゴ
ザイマスカラ、先ニ大藏省ノ方ヲ濟マシタ
イト思ヒマス——森君

○森(警)委員 前回大藏大臣御出席ノ時ニ
私ハ私見ヲ申述ベテ、大藏大臣ノ御意見ヲ
伺ツテ見タイと思ツテ居ツタノデアリマス
ガ、時間切迫ノ爲ニ差控ヘテ居ツタノデア
リマス、本委員會ノ審議モ將ニ終了セント
スル際デアリマスカラ、一言私ノ卑見ヲ申
上ゲテ見タイと思ヒマス、多分御提出ニナ

リマシタ追加豫算モ、全部原案ノ儘デ兩院
ヲ通過シテ、確定議トナルデアリマセウ、
サウシテ只今マデ御示シナリマシタ資料
ニ依リマシテモ、昭和十五年度ニ關スル限
リニ於テ、未ダ募集セラレズシテ殘ツテ居
リマス所ノ公債額ハ二十八億圓ヲ超エマス、
尤モ二月二十日ニ五億圓御發行ニナリマシ
タカラ、二十三億圓殘ルコトニナリマシタ、
更ニ十六年度ノ關係ニ於テハ、少クトモ七
十五億圓ノ公債ヲ發行サレル、ソコデ之ヲ
兩方通計致シテ見マス、相當ノ金額ニ上
リマス、加フルニ一般經濟ノ關係ニ於テ、
國民ニ貯蓄ヲ要求シナケレバナラスト云フ
目安ヲ、先ツ六十億圓トスル、兩方合セテ
見マスルト、百五十億圓ヲ消化スル貯蓄ガ
ナケレバ、賄ヒ付カスト云フコトニ私ハナ
ルト思ヒマス、唯大藏省ニ於テハ過去ノ實
績カラ考ヘ、或ハ本年度内ニ發行スル公債
等ノコトヲ楯ニ取ラレテ、昭和十六年度ニ
殘ルモノハ、左様ナ金額ニナラスト仰シヤ
ルノデアリマス、ソレモ其ノ通りデアリマ
スガ、少クトモ今日以後、即チ二月二十四
日以後ニ殘ツテ參リマス所ノ、國民ノ負擔
ニ屬スベキ所謂公債關係ノ金高ト云フモノ
ハ、百五十億圓ニ近イ數字ヲ示スト云フコ
トダケハ、御認メニナラナケレバナラスト
思ヒマス、更ニ此ノ他ニ公債關係ノ公債デ
アルトカ、色々ナモノヲ御發行ニナルデア
リマセウガ、ソレノハツキリシタ數字ヲ未
ダ御示シニナリマセウケレドモ、法律案ノ
原案ガ總テ兩院ヲ通過シテ參リマスレバ、
十六年度ニ於テハ六億圓ニ近イ數字ガ現ハ
レテ參ルト思ヒマス、ソレハ交付公債デア
ツテ、一般カラ募集スルノデハナイト云フ
御説明ガアルデアリマセウケレドモ、一旦

其ノ公債ガ自分ノ手ニ渡ツテ金ニ換ヘラレ
ル場合ニ於テハ、公債トシテ募集スルノト
ハ選バ所ハナイ、又他ノ方面ヲ見マス、一
般特別兩會計、或ハ軍事實費等ノ關係ニ於テ、
相當多額ノ豫算外契約ト見ラレルヤウナモ
ノガアル、是等ノ數字モヤハリ國ノ財政、
一般國民ノ經濟、サウ云フモノニ影響ヲ及
ボシテ居ルコトハ申スマデモアリマセウ、
或ハ又特別會計ノ關係ニ於テハ、遞信ノ特
別會計ニシテモ、或ハ鐵道ノ特別會計ニシ
テモ、收支ノ數字ノ上ニ付テ辻褄ガ合ツテ、
場合ニ依ツテハ餘リガアルト云フコトデ、
此ノ特別會計ハ結構ダト云フノデ、唯一覽シ
タダケデ、深く檢討ヲ加ヘラレズニ、此ノ
議會ニ出シテ行クト云フヤウナ現在ノ傾向
デアリマス、併シ此ノ實質ヲ調べ見タナ
ラバ、私ハ之ニ付テ相當考フベキモノガア
ルノデハナイカト思フ、斯ウ云フ種々ノ
方面カラ考ヘテ見ル時ニ、今ノヤウナ狀態
ヲ以テシテ、一體國家ノ財政ノ前途ヲ何處
ニ持ツテ行カウト云フ御考ヘデアルカ、私
ハ決シテ財政ノ膨脹ヲ非難スルノデハアリ
マセウ、殊ニ今日ノヤウナ場合デアルカラ
膨脹シナケレバナラスト必然ノ理由ノ下ニ膨
脹シテ參ルト云フナラバ、命ヲ捨テル日本國
民トシテ之ヲ否ム理由ハアリマセウ、何處
マデモ必要ナルモノハ膨脹セシメテ宜シイ、
併シナガラ手桶ニ箍ガナケレバ水ガ漏ル
ト同様ニ、ヤハリ國家ノ財政ニモ一ツ箍
ヲ嵌メニナツテ置クベキモノデハナイ
カ、例ヘバ日本銀行ノ發券關係ニ致シマシ
テモ、今回ノ法律ガ通過致シマスレバ、日
本銀行ノ發券ニ對スル箍ハ弛ンダゴロデ
ハナイ、取去ラレテシマフ、唯大藏大臣ガ一
人締括リヲナル、無論吾々ハ大藏大臣ヲ

信賴スルノデアルカラ、何等ノ疑念ハ持チマ
セウケレドモ、箍ヲ嵌メルト、嵌メザルトノ
關係ニ於テハ、ヤハリ大藏大臣トシテモ箍
ヲ置イタ方ガ宜シイト云フコトニナルト思
フ、併シ兎ニ角ハ取去ラレテシマフ、茲
ニ人心ノ弱味ガアル、箍ガナイカラト云フ
ノデ、ドウシテモ是ハ膨脹ニ重ネルニ膨脹
ヲ以テスル危險ガアル、斯ウ云フ財政經理
ノ方法ヲ以テシテ、今後ノ國家ノ必要ニ應
ジテ行クト云フコトニ付テ、十分ノ御確信
ガアリ得ルカ、私ハ今日ノヤウナ時代ニ於
テ、出來ルナラバ國家ノ財政、國民ノ經濟
ニハ餘裕ヲ持タシテ置イテ——傾ケ盡シテ
餘ス所ナキヤウナ方デハイカヌ、私ハ
今日ヲ憂ヒ、明日ヲ憂フガ故ニ斯ウ云フコ
トヲ言フ、今日ノヤウナ財政ノ經理ノヤリ
方ヲ以テシテ、安ンジテ將來ニ處スルコト
ガ出來ルト云フ自信ヲ御持チニナリマス、
先般大臣ノ代理トシテ次官ガ、此ノ席ニ御
出デニナリマシタ時ニ私ハ申上ゲタ、兎ニ
角今ノ豫算ノ内容ヲ能ク御檢討ニナツタラ
ドウカ、本當ニ筋目正シキ豫算ヲ編成セラ
レテ居リマス、今日カラ貴族院ノ方ニ移
サレタル追加豫算ニ付テモ十億ヲ超エデ居
リマス、大藏大臣ハ長イコト大藏省ニオイ
デニナツタノダカラ、過去ヲ追懷シテ御覽
ニナツテ、今昔ノ感ニ堪ヘザルモノガアル
ト私共ハ想像スル、アナタガ主計局長ヲシ
テ一切ヲ切盛リシテオイデニナツタ當時ヲ
御回顧ニナツテ、今日ニ思ヒ比ベテ、國家
ガ非常ニ大キクナツタコトニ對シテハ、吾
吾ハ洵ニ御同慶ニ存ジマスケレドモ、其ノ
數字ノ取扱ヒ方ニ付テ、惡ク言ヘバ餘リニ
ドウモ弛ミガ多過ぎハシナイカ、此ノ點ガ
私ハ心配デアル、ドウゾ誤解ノナイヤウニ、

私ハアナタニ無理ヲ申上ゲルノデハアリマセヌケレドモ、アナタガ豫算委員會ニ於テ、私共議員代表者ニ對シテ、ハツキリハ仰シヤラナカツタケレドモ、含蓄アル御答ヘニナツタ所ニ依ツテ見テモ、自分ガ要求シテハアナタヲ強要シテ置キナガラ、此處デ彼此レ申上ゲルコトハ相濟ミマセヌケレドモ、財政ノ建前トシテハ考ヘナケレバナラスコトデアツタト云フノハ、マダ總豫算、追加豫算、共ニ議會ノ審議ニ掛ツテ居ル際ニ、豫算不足ノ場合、又ハ豫期スベカラザル支出ノ財源ニ充ツルガ爲ニ取ツテアル所ノ豫備費ト云フモノノ支出ヲ、早クモ約束スルガ如キ財政經理ノ方法ガアリマセウカ、私ハ正シイ議論デ參ルナラバ、是ハ宜クナイコトデアツタト思フ、何故アンナ御約束ヲナサル程デアルナラバ追加豫算ノ形式ヲ履ンデオイデニナリマセヌカ、斯ウ云フコトヲ私ハ申上ゲタカツタ、併シ是ハ濟ンデシマツタカラ、私責メルノデハアリマセヌケレドモ、アノヤウナコトヲ政府自身ガ御誓ヒニナリ、議會全體ガ之ヲ要求スルト云フ、此ノ點ニ對スル考ヘ方ヲ以テシテ、果シテ我が國ノ財政ノ切盛りガ、出來ルデアラウカ、私ハ繰返シテ申上ゲル、決シテ消極的ニヤレト、斯ウ云フコトヲ申上ゲルノデハアリマセヌ、ナスベキコトハ積極的ニナサナケレバナラスガ、其ノ切盛りニ付テハ細心ノ注意ヲ拂ヘト云フコトデアル、是等ノ點ニ關シテハ憲法ノ條章炳トシテ日星ノ如シ、爭フベキ餘地ハアリマセヌ、兎ニ角私ハ近來ノ財政經理ノ方法ハ「ルーズ」ニ流レ掛ツテ居ルノデハナイカト云フ心配ヲ持ツ、或ハ總豫算、特別會計ノ數字等ヲ併セテ色々質問ガアリ、非難ガアル、之ニ對

スル大藏當局ノ御答ハ、何時モ必ズ既定ノ歲出、動カスベカラザル所ノ歲出ガ何程デア、陸海軍ニ關スルモノガ幾ラデア、是等ノモノヲ差引クト殘リハ何程シカナイ、此ノ中何程ノ節約ヲシテ見タ所デ、其ノ數字ハ知ルベキノミト云フ御答ヘニナルノガ普通デア、議會又之ヲ承認シテ爭ハザル現狀デアケレドモ、是亦ドウゾ誤解ヲ避ケテ戴クコトハ、決シテ陸海軍費ニ餘裕アリト申スノデハアリマセヌ、併シナガラ此ノ大財政ヲ切廻ハシテ行クニ付テハ、陸海軍關係ノ費用ト雖モ「メス」ヲ入レベキモノハ「メス」ヲ入レ、檢討スベキモノハ十分ニ檢討シ、而シテ道理ノ正シキ所ニ從ウテ御決定ニナラナケレバナラス、陸海軍ノ御要求デアルカラ、其ノ儘ニ認メナケレバナラスト云フヤウナコトハ、道理トシテ通りマセヌ、恐ラク陸海軍ト雖モ、俺ノ言フコトハ全部承認ヲスベシト云フ——筋ガアツテモ改メナイト云フコトヲ仰シヤルコトハナイト思フ、兩省ノ代表ノ方ガオイデニナツテ居ルカラ私ハ申上ゲル、決シテ陸海軍費ガ多イトハ申上ゲマセヌ、必要ナモノハ御取リニナルガ宜シイ、併シナガラ此ノ陸海軍ニ關スル限リハ、治外法權ノ如キ考ヘヲ持ツテ總テノ算盤ヲ採ラレル、餘レルモノニ付テデナケレバ檢討ハ出來ナイト云フヤウナ態度デハ、豫算ノ切盛りハ出來マイ、斯ウ云フ心配ヲ持チマス、斯ウ云フ點ニ關シテ大藏大臣ハ如何ヤウニ御考ヘニナツテ居ルデアリマセウカ、之ヲ此ノ際一應承ツテ置キタイト思ヒマス

○河田國務大臣 先ヅ豫算ノ歲出ニ付テ、目下其ノ時勢ニ應ジマシテ、緊急、緊要ナルモノヲ先ヅ計上スベキコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、其ノ方針ヲ以テ今日豫算ヲ編成致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ今森君ノ御指摘ニナリマシタヤウニ、或ハ時ニ第三者カラ見テ緊急ナリト思フコトモアルカモ知レナイ、併シ斯克ノ如ク、森君ガ御心配ニナルヤウニ、豫算ガ爲、年々歳々膨脹シテ參ル、其ノ原因ハ何カト云フト、爲スベキコトガ餘リニモ多イコトト思ヒマス、今軍費ニ付テモ仰セラレマシタガ、比較的軍費ガ多クナツテ行クト云フコトハ、今日軍費ノ支出ガ多クナツテ居ルノデアツテ、森君ガ仰セラレタ通り、軍費ナルガ故ニ手ヲ觸レナイト云フヤウナコトハナイノデアリマス、今日ノ場合サウ云フ情勢デア、ルカラ殖エテ行ク、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、ソコデドウシテモ時勢ニ應ジテ必要ノ經費ヲ計上スルト云フコトニナルノデアリマス、過去ノ經費ニ於テ、時勢ニ應ジテ必要ノ比較的薄クナツテ居ルモノニ對シテ、先ヅソレヲ削減シテ行クコトハ、今森君ハソレヲ節約シテモ大シタモノデナイト云フコトガ何時モ言明デアルト仰セラレタケレドモ、サレバト云ウテ數億圓ニ上ルノデアリマシテ、決シテ其ノ節約ヲ蔑ロシテ居ルモノデハゴザイマセヌ、從來トテモサウアツタモノト察シマスガ、本年ノ豫算ヲ編成スルニ當リマシテハ、特ニ其ノ點ヲ——或ハ行政整理トカ財政整理トカ云フ名ハ謳ヒマセヌデシタケレドモ、過去ノモノニマデ相當食込シテ調査シテアルノデゴザイマス、併シ尙ホ數十億ニ達シマス歲出豫算ノ中デ、過去ノモノニ於キマシテハ、金額モ事項モ非常ニ多ウゴザイマスカラ、見落シモゴザイマセウ、是レ以上何ニモ節約スル餘地ナシ、又見落シナシト、サウ大言

壯語ハ致シマセヌ、次ノ凡ニル機會ニ於キマシテ、之ヲ時勢ニ應ジテ變更シテ行ク、即チ今ノ時勢ニ比較的必要ガ輕クナツタモノハ之ヲ止メテ、以テ新シキ時勢ニ應ジテ行カナケレバナラス、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ今御説ノ通り爲スベキコトハ多クアリマスノデ、ドウシテモ膨脹ノ傾向ニアルト云フコトハ否ミ難イノデアリマスガ、茲ニ箍ヲ設ケルノニ、舊來デゴザイマスレバ、同ジ日本銀行引受ノ公債ニ致シマシテモ、直接日本銀行ガ引受ケズシテ、市場ニ於テ賣捌クト云フコトデアリマスレバ、同ジ公債財源デアリマシテモ、其處ニ範圍ガ違ヒマス、只今ノヤウニ日本銀行ガ引受ケテ、ソレヲ賣出スト云フコトニナツテ居ルト、弛ミ勝チニナルコトハ仰セノ通りデアリマス、況ヤ歲入補填ヲ公債ヲ以テ支辨スルト云フ形デゴザイマスノデ、三段ニ引締メル限界ガ往往突破シタガ爾傾向ガアルノデアリマシテ、其ノ點ノ憂慮ハ私全ク森君ト御同意ノ感ヲ持ツノデアリマス、デゴザイマスカラ展、申上ゲマス通り、先ヅ第一ガ何ト申シマシテモ所謂赤字公債、歲入補填ヲ公債ヲ以テスルコトハ、是ハ最モ遺憾デア、是ハ數年前經濟上ノ事情カラ已ムヲ得ズシテ發生シタノハ甚ダ遺憾ト思ヒマスガ、是ハ屢、豫算總會デモ申上ゲマシタ通り、此ノ現象ハ一刻モ早く取去リタイ、斯ウ思ツテ居リマス、併シナガラ之ヲ一舉ニシテ取去ルト云フヤウナ狀態ニ、實ハマダ達シテ居リマセヌ、之ヲ一舉ニシテ取去ラントスレバ、必ズヤ増稅ヲスルナリ、又一方新シイ方法ヲ講ジナケレバナラス次第デアリマスガ、是亦今日ノ時勢ハ其時機ニアラズ、

斯ウ老ヘテ居リマスノデ、遺憾ナガラ赤字公債ヲ出來ルダケ減少スルト云フコト以上ニ、今期議會ニハ出來ナカツタ次第デアリマス、公債モ生産公債トカ、或ハ戰費公債ト云フモノハ姑ク、公債ニ致シマシテモ、歳入補填ノ公債ハ一刻モ早く除去シタイ、此ノ方針ニ伺ツテ邁進シヨウト思ツテ居ルノデゴザイマス、本年ニ於テモ微力デハゴザイマスガ、相當之ニ向ツテ邁進致シタノデアリマスガ、尙ホ漸増ノ形ニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ半年位デ一遍ニ減ラスト云フコトハ、御察シデアラウト思ヒマスガ、中至難ナ所デアリマス、併シ飽クマデ其ノ方針デ進ミタイト思ツテ居リマス、ソレカラ筒一杯ニシテシマツテ、何等餘裕ノナイ建テ方ハ、非常ニ危險デハナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ私少シ御意見ト違フノデアリマス、成程公債財源等ニ付テモ、相當殖エツツアルコトハ私ハ決シテ否ミマセス、唯其ノ中ノ特別會計ノ中ニハ生産公債モゴザイマスシ、一般會計モ僅カデスガ二千万圓バカリゴザイマスシ、純粹ノ投資ニアラザル公債トナルト、戰費公債ト、今申ス歳入補填公債デアリマスガ、之ヲ今日ノ場合十分金融機構方面トモ連絡ヲ執リマシテ、又今期議會ニ提出致シマシタ二、三ノ法案ノ運營ニ依リマシテ、貯蓄ヲ十分獎勵致シテ參レバ、只今目標トシテ居リマスル百三十五億ノ貯蓄、之ヲ以テ公債竝ニ民間資金ニ應ズルダケノ用意ハ出來ルト私ハ見マシタノデ、其ノ方針デ參ツタノデアリマス、ソレデ此ノ際筒一杯ニシテ是レ以上ドウシテモ餘裕ノナイヤウナ方法ヲ執ツテ置クコトハ、私ハ逆ニ危險ト思ヒマスルノデ、甚ダ策ガタイト云フ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌ

ガ、ヤハリ屢、申上ゲマシタ通りニ、十分徹底的ニ貯蓄ヲ獎勵スル、又金融機構トモ連絡ヲ十分執リマシテ、計畫的ニ公債、社債其ノ他ノ資金ヲ收集スルト云フ途ヲ執ツテ參ルノガ、今日ノ場合適當ダト考ヘテ居ルノデアリマス、唯現狀ノ儘ヲ以テハ相當ニ龐大ナル公債、社債等ノ額ニナリマスルガ、手ヲ拱イテ居ルノデナク、相當ニ努力致シマスレバ、此ノ制度、此ノ組織ノ下ニ於テナシ得ルト考ヘテ居リマス、是レ以上國民ノ力ガ應ズル能ハザルダケノ、筒一杯ニマデ組織、方法等ヲ餘リ突詰メテ置クト云フコトハ、何カ豫想外ノ事件ガ突發シタト云フ時ニ、ソレニ應ズル餘地ガ何等ナクナル、サウ云フコトニスルノハ宜クナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマシテ、是ハ或ハ森君ノ御意見トシテハ、モウナイノヂヤナイカト言ハレルカモ知レマセス、私ハマダソコマデハヤツテ居ナイ積リナノデアリマス、併シ此ノ儘デ翌年モ翌々年モ引續イテ行ケルカト云フコトニナリマスレバ、經濟狀態ノ變化トカ、或ハ平和ガ招來スルトカ、或ハ經濟的ニ内外ノ情勢が大イニ好クナルト云フヤウナ、樂觀的ナ現象ガ現ハレマスルカ、サモナイ限りハ此ノ儘毎年々々同ジヤウナコトヲ繰返シテ行クト云フコトハ、ソレハ私危險ト感ジマス、今議會ニ提出致シマシタ昭和十五年度ノ追加豫算、昭和十六年度ノ總豫算竝ニ追加豫算ニ付テハ、是デ遂行シ得ルト確信致シマスケレドモ、唯便々ト此ノ儘ニシテ置クト云フ意味デハゴザイマセス、又次期議會ニ臨ムベク皆サンノ協賛ヲ經ル案ヲ立テマスル時ニハ、ソレハ其ノ時ノ情勢ニ依リマシテ、相當適當ナル案ヲ以テ臨ミタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第

デアリマス

○森(警)委員 私ハ決シテ今日ノ日本國民ニ是レ以上ノ彈力ガナイト云フヤウナ悲觀論ヲ唱フル者デハアリマセヌ、私ハマダ彈力ハアルト思ヒマス、併シナガラ彈力アル中ニ相當彈力ヲ殘スノ途ヲ講ジテ行カレナイト、危險ガ迫リマスト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、其ノ點御同感デアレバ私ハ幸ヒデアリマス、併シ兎ニ角昭和九年ノアノ六億圓ヲ支出ラシタ以來、我ガ國財政經理ニ對スル官民ノ考ヘ方ガ、ドウシテモ少シ「ルーズ」ニナツテ居ル、引緊メ得ベキモノヲ引緊メナイデ居ル、サウ云フ感ジガアル、之ヲ私ハ申上ゲテ居ル、恐ラク大藏大臣ハ御同感デアラウト思ヒマス、一例ヲ申上ゲテ見ルト、近來ハ各省ノ間ニ於ケル事業或ハ事業計畫ト云フヤウナモノガ、是ハ言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、兎ニ角漸次一方ニ統一サレテ、各省ノ關聯ガ少クナリ、ソレガ紛淆シナイヤウニシヨウト云フノデ、初メハ企畫廳トナリ、今ハ企畫院トナリ、内閣トシテ總テノモノヲ統一シヨウト云フノデ、計畫ガ進メラレテ居ルヤウデアリマ스가、實際ヲ見ルト、ドウモサウデナイ節節ガ段々ニ多クナル、ヤハリ一本ノ線ニ乗ツテ參リマセヌ、其ノ一例トシテ見ルト、是ハ私ノ知識ガ足ラナカツタノカモ知レマセヌガ、私ノ知ル限りデハ昨年度ニ初メテ其ノ例ヲ見タヤウデアリマ스가、主トシテ農林省デ行ツテ居ツタ水利關係ノ事業ヲ、災害復舊ノ名ニ於テ内務省ガ又其ノ費用ヲ取ル、例ヘバ灌漑用ノ溜池ヲ造ルナドト云フヤウナコトニマデ、相當ノ金ヲ支出スルト云フ實例ガアル、今度ノ十億圓ノ豫算ノ中ニモ極メテ僅カノ金デアリマ스가、ヤハ

リ同ジヤウナ意味ノモノガ内務省ノ豫算ノ中ニ計上サレテ居ル、アレハ恐ラク何カ農林省ガヤル仕事ニ對スル内務省ノ助成ノ意味ノ事務ノ費用デアラウカト思ヒマス、豫算ニ付テハ質問シテ居リマセスガ、サウ云フモノダラウト思ヒマス、今マデノ豫算ノ組立テ方ヲ考ヘテ見ルト、彗星ノヤウニ尻太リニ段々擴ガツテ行ツテ居リマス、或ルモノハ内務省專一デヤラレタラ宜カラウト思フモノガ商工省ニ入り、遞信省ニ入り、或ハ農林省ニ入ル、農林省ガ總テ一ツニヤツテ行ツタラ宜カラウト思フモノガ内務省ニ入り、厚生省ニ入ツテ居ルト云フヤウナ實例ガアルコトハ、大臣モ御否定ニナラナイ、政府トシテハ斯様ナ場合ニ於テコソ、一刀兩斷ニ斯ウ云フ整理ヲ斷行ナサルベキデアル、私ハ大臣ノ言葉ガソコニ觸レタカラ、重ネテ前ニ申上ゲタコトヲ申上ゲルノデアリマスガ、兎ニ角私ハ豫算ノ建前ト云フモノハ、モウ少シ簡單ニオヤリニナラナケレバイカヌ、各省ガ大藏省ニ對スルニハ、成ベク大藏省ノ主計官ノ眼ヲ潛ルヤウニト云フノデ、種々ノ機構ヲ變ヘテ持ツテ行ク、又大藏省トシテモ豫算ノ建前ガ段々複雑ニナツテ居ル、必ズシモ時勢ガ要求シテ居ルノデハナイ、皆サン方ノ計畫ガ餘リニ密ニ過ギル、アレ程マデニオヤリニナラスデモ、モウ少シ麤枝大葉ニ御進ミニナツテ、一般ノ方々ガ分ルヤウニ豫算ガ組メタル筈デアル、此ノ豫算ガ複雑ニナリ、惡イ意味デ怪奇ニナツテ居ル所ニ隱レ場ガアル、斯ウ云フモノヲ思切ツテ御整理ニナル譯ニハ參リマセヌカ、國民ハ此ノ戰時ノヤウナ場合ニ於テコソ、左様ナ英斷ニ對シテハ贊成ヲ表シマス、平和ノ日ニ入りマシタナラバ、恐ラク國民ノ間ニ色

色ヲ議論ガ起ツテ参リマス、今デコソ英斷
ガ行ハレル時ナンデアリマス、昭和十六年
度ノ豫算ニ於テ、私ハ實行豫算ヲ作リナサ
ルガ宜カラウト云フヤウナコトハ、此ノ豫
算ヲ正シイモノトシテ協賛シタル以上申述
ベル資格ハアリマセス、併シナガラ實際ト
シテハ思切ツテ實行豫算ヲ御組ミニナルガ
宜シイ、實行豫算ヲ御組ミニナル以上、更
ニ十七年度豫算ニ至ツテモ、戰時ニ處シテ
緊急已ムヲ得ザルモノト然ラザルモノトノ
間ニ截然タル區別ヲ設ケナケレバナラス、
所謂泣イテ馬謖ヲ斬ルノ心持ヲ以テ、平時
ニ屬スル數字ト云フモノハドン／＼思切ツ
テ御切リニナツテ、サウシテ豫算ノ單純化ヲ
御圖リニナルナラバ、相當ノ整理ガ行ハレル
ト思フ、只今マダ彈力ガアル、國民ニ貯蓄ヲ
獎勵スルガ宜シイト云フ御話デアツタガ、
國民ニ貯蓄ヲ獎勵スルトイフニハ、國民ノ力ニ
餘リガナケレバ、幾ラ獎勵ナサツテモハ
イカスノデアリマス、其ノ意味カラ言フト、
一體國民ノ力ガ何程ニナツテ居ルト御覽ニ
ナルカト云フ、其ノ次ノ質問ニ移ラナケレ
バナラスコトニナリマス、是ハ近來大藏省
トシテモ其ノ他ノ方トシテモ秘密ニシテ御
語リニナラス、此處御尋ネ致シテモ仕様
ガアリマスマイ、併シソレニ付テハ相當御
腹案ガアリマセウ、國民ノ力ヲ計ツテ、何
程ヲ生活ノ費用ニ充テ、何程ヲ貯蓄ニ充テ
ルト云フ、目安ヲ大體御立デニナツテ居ル
ト思ヒマスガ、此ノ目安ヲ立テルコトニ誤
リナキヤウニ御留意ヲ願ヒタイ、サウデナ
イト、荷クモ貯蓄ノ獎勵ト云フモノハ非常
ニ豫想ニ違ツテ來ル、モウ國民ノ或ル部面
ニ於テ、貯蓄ノ關係ニ於テ相當行詰ツタノ
デハナイカト思ハレルヤウナ節モナイデハ

アリマセス、大藏省ノ人モソレヲ御認メニ
ナリマセウ、或ハ統制ノ關係トシテ、經濟
其ノ他ニ對スル壓迫ノ姿ガ生ジテ居ルト云
フヤウナコトモ、或ル點ニ於テハ認メナケ
レバナラスカモ知レナイノデアリマス、經
濟ハドツチカニ偏シテ居ル、更ニ其ノ狀態
ガ擴ガツテ行クト云フヤウナコトニナレバ、
大イニ憂フベキモノガナイトハ言ヘヌノデ
アリマス、私ハ十分ニ是等ノ點ニ御留意ア
ランコトヲ望ム、ソレデ豫算ノ單純化ノ爲
ニハ、先般モ申上ゲタヤウニ、國稅トシテ
徵收サレタ其ノ費用ヲ、一旦一般會計ニ入
レテ、臨時軍事費ヲソレニ持ツテ行ク、ア
ノ手數ヲ御止メニナツテ、キツチリ御決メ
ニナツタラ宜イデハナイカ、ソレガイカス
ト言ハルルカラ、ソレナラバ總テガサウ云
フ形デ行カレルノカト思ツテ、今度ノ追加
豫算ヲ見ルト、府縣ニ委讓シタヤウナ形ニ
ナツテ居ル地租、營業稅ノ收入ノ如キハ、
當リ前ナラバ一般會計ニ入レ、之ヲ特別會
計ニ御繰入ニナルベキ筈デアルノニ、一般
會計ノ歲入ヨリ落シテシマツテ、特別會計
ヘ持ツテ行ツテ之ヲ御入レニナツテ居ル、
大藏省ノ都合ノ好イ時ハドウデモヤツテ居
ラレルノデアアルカラ、私ハ臨時軍事費ノ關
係ダケニ、アノ複雑ナ仕事ヲヤラナケレ
バナラスコト云フ理由ヲ發見スルニ苦シムノ
デアリマス、斯ウ云フ點ニ付テモ十分ニ考
ヘヲ及ボサレテ、十七年度ノ豫算ヲ編成セ
ラルルニ當ツテハ、本當ニ必要已ムヲ得ザ
ル費用ヲ計上セラレルト云フコトニ、心ヲ
用ヒラレルコトヲ希望スル、之ニ對シテ若
シ教ヘヲ乞フ點ガアリマスマナラバ、御教ヘ
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河田國務大臣 森君ノ御所見ハ洵ニ御尤
モデ、其ノ通りダト思ヒマス、唯違ヒマス
所ハ、吾々モ其ノ積リデ編成致シテ居リマ
スノニ、左ニアラズ、實質ノ問題デアルト
思ヒマス、先ツ第一ニ、各省ノ統一スベキ
所ガ各省分レテ要求サレテ居ルノデハナイ
カ、是ハ私ハ細カイ所ハ氣ヲ附ケマセスガ、
趣旨ハ或ル一ツノ今舉ゲラレマシタ例ニ牽
聯致シマシテ、其ノ主ナル仕事ヲスルノニ
ハ、或ル一ツノ省ニ統一シマス、之ヲ世話
スル爲ニ各省ニ分レテ要求スルト云フコト
ハアリ得ルノデアリマス、サウ云フ趣旨デ
出來テ居ル筈デゴザイマス、萬一之ニ對シ
テ今森君ノ指摘セラレマシタヤウニ、之ニ
便乘シテ一ツノモノヲ要求スレバ、俺ノ方
モ要求スルト云フヤウナコトハ往々アルコ
トデアリマス、是ハ十分ニ戒飭シテ居ル所
デゴザイマス、併シナガラ決シテ是ハ政府
ノ趣旨デハゴザイマセス、是等ノ點ヲ發見
スル場合ニハ一刻モ早く、又一錢一厘ト雖
モ整理シテ行クト云フコトニ付テハ御同感
デアリマス、サウ云フコトノナカランコト
ヲ期シテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ
又今彗星ト云フヤウナ御話ガゴザイマシタ
ケレドモ、サウ云フ尻擴リト云フヤウナ點
モ從來アル所デゴザイマス、例ヘバ水道費
ノ如キ年ニ三百圓デカ四百圓デスカ、ソレ
ガ先ヘ行クト二十何年掛ツテ、一番終ヒノ
方ハ、何万圓ト云フヤウナコトデ、豫算ノ編成
ノ仕方トシテハ面白クナイ、斯ノ如キコト
ハ甚ダ遺憾ト思ヒマスノデ、從來ノ經驗カ
ラ致シマシテモ、出來ルダケ方針ト致シマ
シテハ、サウ云フコトノナカランコトヲ日
夜苦慮致シテ居リマス、私ガ今申上ゲマシ
タ通り御預リ申シマシタ此ノ豫算ノ一錢
一厘ト雖モ、決シテ誤謬ガナイト公言スル

コトハ出來ナイ、サウ云フコトハアルカモ
知レマセス、是等ハ併シ今御指摘ニナリマ
シタ通り、政府ニ於テモ其ノ趣旨ニ於テ致
シテ居ルノデアリマス、民間ニ色々緊張スル
コトヲ高調スル以上ハ、政府先ツ自ラ改革
スベキ所ハ改革スル、是ハ其ノ通りデアリ
マス、斷行スベキ所ハ斷行シタイト思ツテ
居リマス、今ノ經費節減ノコトモ、ヤハリ國
民ノ方デ納得シテ呉レマセヌト、政府ハ如何
ニサウセントシテモ、二百圓デモ宜シイカ
ラ補助シテ貰ヒタト云フヤウナ考ヘ等ガ、
從來ハアツタカト思ヒマス、ソレデハヤハリ
イカスト云フコトデ、官民一致シテサウ云
フコトノナカランヤウニ致サナケレバナラ
スト思ヒマス、ソレカラ成タケ豫算ノ複雑
化ヲ避ケマシテ、重複勘定ヲ止メルト云フ
ゴトハ、一ツノ見方トシテ結構ナンデアリ
マス、所ガ稍、學究的ニナルノデアリマスガ、
一體日本ノ豫算制度ノ立テ方ハサウデナイ
ノデアリマス、何デモ彼デモ一般會計ニ統
一スルト云フ立テ方ガ本來ノ立テ方デアリ
マス、所ガ段々時勢ガ複雑ニナツテ参リマ
シテ、最近デハ其ノ傾向ガ、今御話ノ通り
出來ルダケ重複勘定ヲ避ケルト云フ方針ニ
向ツテ進ンデ來テ居ルノデアリマス、全般
的ニ日本ハ一般會計總豫算ト云フモノガ根
幹ニナツテ居リマシテ、之ニ特別會計ト云
フ枝ガ生エ、追加豫算ノ葉ガ付イテ行ク、
斯ウ云フ立テ方ニナツテ居ルノデアリマス、
併シ此ノ頃ハ非常ニ複雑ニナツテ、金額モ
多クナツテ居リマスガ故ニ、縁ノ切レテ居
ル特別會計ガ往々出テ居リマスケレドモ、
總豫算ガ根幹トナツテ、追加豫算、特別會
計ト云フ枝葉ガ付イテ居ル、是ハ法律ヲ以
テサウシナケレバナラスコト云フ規則ニナツ

テ居ル、サウ云フ組織ニナツテ居ルノデア
リマシテ、此ノ複雑ナル世ノ中ニ何モ彼モ
總豫算ニ集メルト云フコトガ宜イカ惡イカ、
是ハ相當ニ考究シナケレバナラス、之ヲ一
ツ會計ニ纏メマスルコトニナリマスルト、
御説ノ通り重複勘定ガ多クナリマシテ、唯
集計シタダケデハ分ラナイ、是ハ複雑化ノ
主ナル原因ノ一ツダラウト思ヒマス、併シ
ナガラ之ヲ切離シテ、縁ヲ切ツテ行ク傾向
ニ向ツテ行キマス、一見簡單ノヤウデア
リマスガ、之ヲ一括シテ集計シテ見マス、
案外知ラヌ間ニ全體ノ歳計ノ膨脹ヲ來ス虞
ガ多クアルノデアリマス、何レガ宜イカ、
是モ昔ノ豫算ノ少カツタ時代ト、今日何十
億ニナツテ居ル時代ニ、同ジ方針ヲ執ツテ
行クコトガ宜イカ惡イカ、ソコハ利害各、
アルコトト思ヒマス、成ベク切離ス
ト云フ方針ニ最近ハ向ツテ行ツテ居ルヤウ
デアリマス、而シテソレガ爲ニ思ハヌ所ニ
實際ノ負擔ガ意外ニ重クナツテ居ル、所ガ
今御話ノ地方税制ハ昨年改革ヲ致シマシテ、
是ハ昔ニ戻ツタノデアリマス、一遍國デ以
テ徴收シテ、其ノ相當部分ヲ地方ニ配付ス
ル、又直接一部分ハ地方デ取ツテ居ル、折
角簡單化スルコトガ、又元ニ戻ツテ複雑化
シタヤウナ形ニ見エマス、併シ之ニハ色々
ノ謂ハレガアルノデアリマシテ、昨年ノ税
制改革デサウ云フ方針ニナリマシタノモ、
理窟ガアツテ、サウナツタノダト思ヒマス、
今御話ノヤウニ大藏省ノ都合デヤツテ居ル
ノデヤナイノデアリマス、ソレカラ今御話
ノ臨時軍事費ノコトハ、豫算總會ニ於テモ
申上ゲタト思ヒマスガ、六億七千萬圓ヲ税
デ收入致シマシテ、ソレヲ臨時軍事費ニ
繰入レルノデアリマスカラ、豫算ノ單純化

ト云フコトカラ言ヘバ、全部一般會計デ收
入ヲ立テマシテ、其ノ代リニ臨時軍事費ノ
方ノ財源ハ公債ニ求メレバ宜イ、ソレヲ税
デ徴收シテ居ル爲ニ、一方赤字公債ガ六億
何千萬圓殖エテ居ルト云フ御話ハ、洵ニ御
尤モアリマス、其ノ方ガ森君ノヤウニ、
終始豫算ノ單純化ト云フコトニ注意ヲ拂ハ
レテ居ル方々ニハ、分リ易クテ宜イト思ヒ
マス、ケレドモ沿革上、多大ノ増税ガ支那
事變後急増致シマシタノデ、是ハ支那事變
ニ要スル經費ダト云フコトヲ國民ニ「アッ
ピール」スル點カラ云フト、國民ノ氣分ヲ酌
ミマス、ヤハリ増税ノ相當部分ハ普通ノ
一般經費ニ當テルノミニアラズシテ、臨時
軍事費ノ財源ニナルノダト云フ形ヲ取ルコ
トガ必要デアリマス、段々理窟ヲ縮メテ參
リマスレバ、一般會計ノ歳出ニ屬スル所ノ
臨時部ノ軍事費ニ要スル經費ハ二十何億デ
アリマスカラ、六億七千萬圓ヲ吞込ンデ餘
リアル位アルノデアリマス、理窟カラ言ヘ
バ其ノ方ニ使ツテ宜イト言ツテ宜イヤウデ
アリマスケレドモ、當初ノ沿革モアリマス
ノデ、私モ考ヘ抜キマシテ、ヤハリ國民ノ
増税ノ負擔モ多額ニナツテ居ル今日デハ、
其ノ形ヲ又取ツテ置ク方ガ宜イノデナイ
カ、斯ウ存ジテ私編成致シマシタ、又今御
話ノ通り單純化ト云フコトニナリマス、
餘計ナ手數ヲ掛ケテ居ルト云フ議論モ出マ
スガ、今後事變ガ何年續キマスカ、其ノ間
ニ於テハ或ル期間ニ於テ相當變更スル必要
ガ起レバ、是ハ別ニ之ニ固執スルト云フ意
味デハゴザイマセヌ

○森(肇)委員 分リマシタ
○松田委員長 川俣サン、大臣ハ貴族院カ
ラ呼びニ來テ居リマスカラ、簡單ニ願ヒマ
ス
○川俣委員 簡單ニ五分程デス、私此ノ間
モ申上ゲタノデスガ、公債消化ト豫算ノ實
行ニ當ツテ、私共心細ク思ツテ居ル點ハ、
生産擴充ノ爲ニ生産費ヲ引下ゲルト云フ心
掛ノ足ラナイ點ト、勞働力ヲ何處ニ集中按
配スルカト云フ二點ガ足ラナイノダト云フ
コトヲ申上ゲテ居ツタノデアリマスガ、生
産費ヲ引下ゲルコトニ付テ御考慮ニナラナ
イト云フト、所定ノ軍需、民需ノ物資ガ私
ハ得ラレナイデハナイカト思フ、斯ウ云フ
コトハ明瞭デアルト思ヒマス、ソコデ生産
費ヲ引下ゲルコトニ付テ一言申上ゲタイト
思ヒマスガ、私ガ大臣ニ説明スルマデモナ
ク、生産「コスト」ヲ引下ゲル、所謂生産費ノ
内容ト云フモノガ、御承知ノ通り原料、利
潤、地代、勞賃ダト思フノデス、結局原料
ハヤハリ地代ニ還元サレテシマフノデアリ
マシテ、其ノ中デ最モ今引下ゲ得ラレルモ
ノハ地代ヨリ外ニナイ、國債消化ノ上カラ
見マシテモ、モツト地代ヲ引下ゲルコトガ
今日ノ物資ヲ豊富ニスル、利潤引下ゲノ上
カラ見テモ必要ナ時機ニ到達シテ居ル、衣
食住ノ中、住カラ見テ都會ノ地代ト云フモ
ノガ、或ル程度抑ヘラレテ居ルケレドモ、
食糧生産ノ上カラ見テ、農村ノ地代ヲモツ
ト抑ヘテ來ナケレバナラスノデハナカラウ
カ、工業利潤ト云フモノガ抑ヘラレテ居ル
ニ拘ラズ、農村ノ生産費ノ構成要素ニナツ
テ居ル大キイ地代ト云フモノニ付テ、大藏
省ノ考ヘ方ガ足ラナイト云フコトヲ此ノ間
申上ゲタノデスガ、其ノ點ニ付テノ答辯ガ
曖昧デアツタノデ、此處デ改メテ御尋ネ致
シテ置キタイト思ヒマス

○河田國務大臣 先日川俣君ノ御質問ハ、
農村ノ方カラ考ヘテ、地代ヲ其ノ儘放任シ
テ居ルノデナイカ、米價ハ成程「コスト」カラ
考ヘテ高クナイカモ知レナイガ、其ノ他ノ
生産物ハ相當高イデヤナイカト云フ御話ガ
アリマシタノデ、其ノ點ハ實ハ私モ餘リ詳
シクナイノデアリマス、ソレデ先般農耕地
ノ賣買價格等ガ統制サレルコトニナツタト
記憶シテ居リマシタノデ、サウ申上ゲタ積
リデアリマシタガ、ヤハリソレハサウデア
ツタサウデス、ダカラ今ノ住宅地ニ於ケル
地代ニ付テハ制限ガアリマスガ、今ノ御話
ハ小作料ト云フ意味デヤナイダラウト思フ
ノデスケレドモ、小作料ニ付テハ一應制限
ガ出テ居リマス、其ノ他ノ農村ニ於ケル小
作契約ニアラザル普通ノ地代ハ決マツテ居
ナイデヤナイカト云フコトニ先刻承ツタ、
此ノ詳細ノコトニ付キマシテハ、私實ハ甚
ダ暗イノデアリマス、農林當局ノ方トシマ
シテハ小作料トノ關係ガアリマスノデ、ソ
レガドウ云フ關係ニナツテ居リマス、篤
ト主稅當局ト農林當局ノ間ニ、今仰シヤル
ヤウニ住宅地ニ於ケル地代トノ權衡ヲ餘リ
失スルヤウナコトガアルノデヤナイカ調ベ
テ貰ヒタイト思ツテ居リマスガ、マダ其ノ
結果ノ報告ヲ受ケテ居リマセヌ、其ノ點ハ
甚ダ相濟ミマセヌガ、私今ハツキリドウ云
フ關係ニナツテ居リマスカ能ク存ジマセヌ、
其ノ結果ヲ見マシテ、御説ノヤウニ權衡ヲ
失スルヤウナコトガアリ、其ノ結果先般御
話ガアリマシタ通り貯蓄ノ餘裕ガ出來ヌ、
若シクハ農村ニ熟練職工ガ歸ルト云フヤウ
ナコトニナリマシテハ、是ハ目的達成ニナ
リマセヌ、サウ云フ結果カラ見マシテ、能
ク農林當局ト相談ヲ致シマシテ、然ルベキ
方法ヲ執リタイト思ツテ居リマスガ、實ハ

其ノ結果ヲ聞イテ居リマセヌノデ存ジマセヌ

○川俣委員 時間ガナイノデ十分ニ述ベラレマセヌケレドモ、私ノ此ノ前申上デタコトガ、尙ホ能ク吞込ミ得ラレナカッタノデヤナイカ思ツテ、今更ニ申上デタノデス、農産物ノ價格カラ來ル利潤ト、ソレヲ投資トシテ來ル利潤ト、農村利潤ニ二ツアルト云フノデ申上デタノデスガ、今日生産費ヲ引下グルコトガ、殆ド總テノ物資ニ於テ不可能デアル、斯ウ言ハレテ居ルケレドモ、生産費ノ中ノ構成要素デアル利潤、勞賃ト云フモノハ、或ル程度抑ヘラレテ居ツテ、マダ幾分デモ引下ゲ得ラレルモノハ地代デア

ル、斯ウ云フ觀點ヲ執ラナケレバイカスデヤナイカ、而モ地代ト云フモノガ、他ノ工業カラ來ル利潤ヨリモ利廻ガ良過ギル、サウ云フ點カラ見テモ、モツト地代ヲ引下グルコトガ出來ルデヤナイカ、生産費ヲ引下グルコトガ必要ダト考ヘラレル現在ニ於テ、引下ゲ得ラレナイモノハ別デスガ、引下ゲ得ラレル餘地ノアルモノハ、引下ゲナケレバナラヌデヤナイカ、而シテ他ノ工業方面カラ見マシレバ、小作料ニ致シマシテモ、地代ニ致シマシテモ、引下ゲ得ラレル餘地ガアルデヤナイカ、其ノ點ヲ考ヘナイイデ居ツタノデハ、所要ノ物資ガ得ラレナイデヤナイカト云フコトヲ申上デタノデア

リマス、其ノ事ハ農林省ノコトダト云フコトデアリマシテハ、豫算ヲ實行ニ移サレル場合ニ於キマシテ、民需ニ致シマシテモ、軍需ニ致シマシテモ、所要ノ物資ヲ得ラレナイ結果ニナル、斯ウ云フコトヲ申上デテ居ルノデアリマス

○河田國務大臣 御話能ク分リマシタ、私

ハ能ク農村ノコトハ存ジマセヌガ、小作料ニ關スル限リハ、小作料統制令ガ出テ居リマシテ、一ツノ制限ガアリマス、今ハ大抵畑デモ小作契約ヲシテ居ナイ所ハ少イダラウト思ヒマス、先般ノ御質問デハ、其ノ他ノ地代ト云フコトデアラウカト思ツタノデアリマスガ、其ノ點ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、マダ報告ヲ受ケテ居リマセヌ、小作料モマダ高過ギルデヤナイカト云フ御説デゴザイマスレバ、今後調べテ見タイト思ヒマス

○川俣委員 勿論小作料モ入ツテ居リマス、山ヘ入ル入會權ノ問題デアルトカ、色々ナ山ヘ入ル權利トカ云フ關係モアリマス、地代ガ高イ爲ニ木材ノ昂騰、薪炭材ノ昂騰ト云フヤウナコトヲ來スコトニナルノデ、單ナル農耕地ダケデハナイ、隨テ私農村ノ地代ガ一般ニ高過ギルト云フコトヲ申上デタノデアリマス

○河田國務大臣 分リマシタ

○松田委員長 次ハ青木君——極メテ簡單ニ願ヒマス

○青木(作)委員 公債消化ハ非常ニ重大ナ問題デアリマスガ、此ノ場合大藏大臣ハ極メテ小額ナ富籤券ヲ發賣シテ、大衆ノ購買力ヲ吸收スルコトニ付テ考慮シテ居ラレカドウカ、報國債券ハ既ニ出シテ居リマスガ、尙ホ一圓位ノ富籤券ヲ、或ル地域ヲ單位ト致シマシテ、毎月二回位賣出シテ、サウシテ其ノ中カラ五百圓、或ハ二百圓、斯ウ云フヤウナ極少數ノ富籤券ヲ得、アトノ金額ハ全部政府ガ取ル、サウシテ結局一圓デ買ツタモノハ、當ラナケレバ全然損デアル、斯ウ云フ制度ヲ一月二回位各地方デヤリマスレバ、最近ノ傾向ト致シマシテ、相當サ

ウ云フヤウナ富籤式ノ娛樂ニ向ツテ金ガ費消サレテ居リマスノデ、是等ヲ吸收スルコトガ出來マスレバ、サウ莫大ナ金額ヲ上ゲルコトハ出來ナイト致シマシテモ、決シテ輕クナイ金ガ上ゲラレルノデハナイカト思ヒマスガ、斯ウ云フコトニ付テ考慮シテ居ラレルカドウカ、若シ出來マスナラバ、斯ウ云フ方法ヲ都會地ダケデモヤルナラバ、農村ノヤウナ眞面目ナ生活ヲシテ居ル所ニ行フコトハ、精神上ニ於テモ惡イ影響ヲ及ボスダラウト思ヒマスガ、既ニ各種ノ富籤式ノ娛樂ガ流行シテ居リマス都會地ニ於テハ、サシタル支障ナクシテ、尙且ツ貯蓄ニ依ラズ、公債割當ニ依ラズシテ吸收シ得ラレルモノデアルト思ヒマス、此ノ段階ニ當リマシテハ、斯ウ云フ方法モ執ラザルヲ得ナイ時期ニ到達シテ居ルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマスガ、大臣ノ御考ヘヲ伺ヒタイ

○松田委員長 青木君ニ申上ゲマスガ、アナタハ後デ代ツテオイデニナツタノデ、其ノ問題ニ付テハ、モウ少シ公債ニ魅力ヲ持タシタ方法、デヤルコトハナイカト云フコトデ、他ノ委員カラ質問ガアツテ、應答済ミデアリマスカラ、速記録ヲ御覽願ヒマス——ソレデハ他ニ大藏大臣ニ對スル質問ハアリマセヌカ——丁度十二時ニナリマシタガ、

外務省ニ對シテマダ三人質問ノ要求ガアリ、又陸海軍省ニ對シテモ質問ガ殘ツテ居リマシテ、午前中引續イテ致シマシテモ濟マナイト思ヒマスカラ、午後一時ヨリ開會致シマシテ、纏メテ御質問願ヒタイト思ヒマス、是デ休憩致シマス

午後一時三十分開議

○松田委員長 午前ニ引續キマシテ開會致シマス——世耕君

○世耕委員 此ハ此ノ際簡單ニ海軍ニ御尋ネ致シタイト思フノデアリマス、二月十九日ノ米國下院ニ於テ「グアム」島防備案ガ

滿場一致決サレタコトガ、「ワシントン」ノ電報ニ依ツテ發表サレテ居リマスガ、御承知ノ通り「グアム」島ハ我が南洋委任統治ノ「サイパン」島ノ鼻先ノ島デアリマス、米領「グアム」島「サイパン」島ノ距離ガ約四十哩、小笠原カラ七百四十哩ノ地點デアルト云フコトハ、申上グルマデモナイコトデアリマスガ、元來「グアム」島ノ防備問題ハ、過去數年間ニ亙ツテ、米國議會デ提出サレレ度ニゴテ「ガ起ツテ、結局其ノ論争ノ的トナリ、其ノ都度徒ラニ日本ヲ刺戟スルニ過ギズトノ見解ノ下ニ、否決サレテ來タモノデアリマス、然ルニ此ノ十九日ノ下院ニ於テ、同案ヲ表決スルニ當ツテ、一人ノ反對者ナク滿場一致決サレタト云フコトハ、米國特ニ米議會ノ極東政策ガ、如何ニ積極化サレテ來タカト云フコトヲ、立證スルニ足ルモノガアラウト思フノデアリマス、殊ニ「ヴィンソン」海軍委員長ガ同案ニ關スル見解ヲ披瀝スルニ先ダツテ、以下ノヤウナコトヲ述ベテ居ル譯デアリマス、

米國ト其ノ議會ハ安心シテ然ルベシ、米全海軍ハ待機ノ姿勢デ、如何ナル緊急ノ場合ニモ直チニ起テ得ル用意ガ出來テ居ルト云フコトヲ言ウテ居ルヤウデアリマス、又此ノ點ニ關シテ我が野村駐米大使ハ以下ノヤウナコトヲ宣言シテ居ル譯デアリマス「グアム」「サイパン」島ノ軍備強化ニ付テハ、是等ノ島ノ領有權ガ米國ニアル以上米國ノ勝手

ダ、又「フイリッピン」モ同様デアリ、又「シンガポール」ノ機雷ノ敷設モ、同港ガ英領デアル以上日本ノ關スル限リデハナイ、斯ウ云フコトヲ野村駐米大使ハ宣明シテ居ルヤウデアリマス、勿論自己ノ領土内ニ於テ如何ナル國防設備ヲスルト雖モ、何等他國ノ干涉スベキ筋合ノモノデナイト云フコトハ、野村大使ノロフ俟ツマデモナク明カデアルト云フコトハ、萬人能ク認メル所デアリマス、ケレドモ國家ト國家トノ間ニハ自ラ儀禮ト云フモノガアル筈デアリマス、道徳ガアル筈デアリマス、其ノ道義心、過去數年間ニ互ツテ「グアム」島防備ニ米國議會ガ反對シテ來タト云フコトハ、此ノ理念ニ基イタコトハ言フマデモナイト思フノデアリマス、今日ノ米國ナリ英國ノ執ツタ極東防備強化ノ對策ハ、譬ヘテ見レバ、人ノ面前デ拳固ヲ振廻スノト稍、類似シテ居ル感ガアルノデアリマス、殊ニ「グアム」島ハ我が南洋委任統治ノ北端ノ入口デアリマス、「サモア」島ハ我が南洋委任統治ノ南端ノ入口デアリマス、南洋委任統治領ヲバ北南ニ挾シテ形ガ、茲ニ地圖ノ上カラ窺フコトガ出來ルノデアリマス、御承知ノ通り例ヘバ「オホーツク」海、日本海、黃海、南支那海等ヲ、假ニ瀕戸内海ト譬ヘテ見マスルナラバ、「シンガポール」ハ東洋ノ西關門デアルト云フコトガ言ヘル、換言スレバ恰モ門司下關ニ匹敵スル所ノ要衝デアリマス、太平洋交通ノ二〇%ガ「パナマ」、八〇%ガ「シンガポール」ニ依ツテ交通、船舶輸送ノ關係ガ生ズルコトハ言フマデモナイ、我が日本ノ貿易ノ四〇%乃至五〇%ト云フモノハ、「シンガポール」ヲ經由シナケレバ貿易出來スト云フコトハ、茲ニ事實トシテ證明サレ得ルノデアリマス、

嘗テ「ラッフルス」卿ガ「シンガポール」ヲ手ニ入レタ時ニ、是デ東洋ノ基礎ガ固メラレタト述ベタコトヲ吾々ハ想起スニ於テ、此ノ感ヲ深クスルノデアリマス、別ニ英米ノ極東ノ防備強化ニ對シテ神經ヲ尖ラス譯デハナイノデアリマスガ、此ノ事實ヲ海軍ハドウ見ルカト云フコトヲ御尋ネシテ置キタイノデアリマス、尙ホモウ一點ハ、英米ノ極東防備強化ニハ我々ハ殊更ニ氣ヲ留メルモノデハナイケレドモ、一タビ我が海軍ガ起テバ、コンナコトハ鎧袖一觸問題ニナラヌノデアリマスガ、唯此ノ場合我々ガ明言シテ置キタイコトハ、極東ニ新タニ戰火ガ及ブヤウナ場合ハ、ソレハ英米ガ是ガ責任ヲ負ベキデアルト云フコトヲ、此ノ際明言シテ置キタイノデアリマス、此ノ二點ニ付テ明快ナ海軍ノ御答辯ヲ得ラレバ結構ダト思フノデアリマス

○豊田政府委員 只今ノ世耕サンノ御質問ニ御答ヘ申上ゲマス、去ル一月十九日「アメリカ」ノ下院ニ於キマシテ、「グアム」ヲ含ミマスル防備豫算約二億四千万「ドル」近クノモノガ通過致シマシテ、直チニ上院ニ送ラレマシタ、其ノ中「グアム」ニ關スルモノハ、大體四百七十万「ドル」近クト了解致シテ居リマス、御承知ノ通り「グアム」ノ防備ニ付キマシテハ、「アメリカ」ニ於キマシテモ前カラ色々議論ガアツタノデアリマスガ、今回可決サレタ譯デアリマス、我が海軍ト致シマシテハ、決シテ之ヲ輕視致シテ居ル譯デハゴザイマセス、併シナガラ今回「アメリカ」ノ議會デ議論サレマシタ程度ノコトヲ以テ、直チニ國防上重大ナル脅威トハ吾々ハ感じテ居リマセス、我が海軍ト致シマシテハ、是等ノコトハ十分考慮ニ入レマシテ、軍備

ノ各般ノ計畫ヲ立テテ居ル次第デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○世耕委員 第二點ノ、今後東亞ニ新シク戰火ガ及ブヤウナ場合ハ、米國ノ積極的ナ防備強化ガ、却テ其ノ禍根ヲ與ヘルモノデアリ、其ノ責任ハ米國側ガ負フベキダト云フ問題ニ付テハ、ドウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマスカ

○豊田政府委員 是ハ速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○松田委員長 速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○世耕委員 モウ一點、「シンガポール」ノ防備ニ付テハ、ドウ云フ御考ヘデゴザイマスカ

○豊田政府委員 是モ速記ヲ止メテ戴キタイ

〔速記中止〕

○世耕委員 御説明シニキイ點モアリマセウシ、私モ餘リホジクツテ聴カウト考ヘテ居リマセスガ、何レ適當ナ機會ニ詳シク承ツテ置キタイと思フノデアリマス、大體吾等ノ察スル所ハ、英國ハ凡ニ手手段ヲ講ジテ、此ノ東亞ノ新秩序建設ヲ妨害セントスル態度ヲ、今日改メナイト云フコトハ認メラルト思フノデアリマス、特ニ「シンガポール」ヲ中心トシタ地點ニ、機雷其ノ他ノ設備ヲナスコト云フガ如キハ、將來日本ノ貿易關係ヲソコデ一ツ壓縮シテ行カウ、物資ト食糧トヲ海上デ以テ先ヅ封鎖シテ行カウト云フ手段ニ出テ居ルノデハナイカ、此ノ一點ガ窺ハレルノデアリマス、又「グアム」其ノ他ノ防備ノ如キモ、遠卷キニ網ヲ下シタヤウナ感ヲ國民ニ深ク與ヘテ居リマス、吾等ハ無敵海軍ヲ持ツテ居ル國民デアリマス

カラ、何等外敵ニ對シテ不安ハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、若シ彼等ニシテ積極的ナ、サウ云フ挑戰的行爲ガアル場合ニハ、海軍トシテ斷乎タル處置ヲ執ツテ戴キタイト云フコトノ希望ヲ申上ゲテ、私ノ海軍ニ關スル質疑ヲ終リマス

○松田委員長 モウ海軍ノ方ニ御質問ノ方ハアリマセスカ——ナケレバ是デ打切ツテ、アト陸軍ト外務デスガ、二時マデ來ラレナイト云フコトデスカラ、十分間バカリ休憩致シマス

午後一時五十分休憩

午後二時五十分開議

○松田委員長 休憩前ニ引續キマシテ開會致シマス、森君、世耕君ニ關聯事項デスカ——森君

○森（肇）委員 外務次官ニ二點御伺ヒ致シマス、第一ハ先般公ニサレタ情報局ノ某部長ノ、例ノ歐洲戰亂ニ關スルアノ聲明ナルモノハ、外務省ハ事前ニ御承知デアツタノデアリマス、ドウデスカ、是ガ一點デアリマス、

其ノ次ニハ、今朝マデノ新聞ノ報道ナドヲ見マス、日本ノ佛印「タイ」兩國ノ間ノ調停ガ行ハレテ居ル後ロニ於テ、英國「アメリカ」ノ力ガ色々ニ動イテ居ルト云フコトガ傳ヘラレテ居リマス、又日本ト蘭印トノ交渉ノ蔭ニ於テモ、同様ニ策謀若シクハ行動ガ行ハレテ居ルヤウニ傳ヘラレテ居リマスガ、之ニ付テ最近ノ狀況ヲ御説明願ヘバ結構ダト思ヒマス

○大橋政府委員 情報局ノアノ發表ニ付キマシテ、大體英國ニ於テ非常ナル危惧ヲ持ツテ居ルト云フ關係上、新聞記者カラ聴カレタ

場合ニ於テハ、大體其ノ大臣ノ向フニ答ヘラレタヤウナ「ライン」ニ依ツテ回答シタラ宜イ、斯ウ云フヤウナ打合せノ下ニ於テヤツタノデアリマス、調停云々ノコトハ實ハサウ重キヲ置カナカツタノデアリマス、其ノ中ニ含マレテ居ルモノヲ、一緒ニ其ノ趣旨ヲ言ツタ結果、アア云フコトニナツタノデアリマス、隨テ大體ノ新聞記者ニ答ヘラレル回答ニ付テハ、豫メ諒解ヲシテ居ツタノデアリマス、併シ調停云々ノコトハ、別ニ吾々モ當時サウ氣ヲ留メテ居ツタ譯デモナイシ、又其ノ情報ヲ發表シタ本人モ、其ノ點ニ非常ニ重キヲ置イテヤツタ譯デハナイノデアリマス、偶、新聞記者ガ其ノ最後ノ一點ダケニ重キヲ置イテ、殊ニ日本ノ新聞ガ書イタガ爲ニ、非常ニ大キクナツタ、其ノ當時ノ「ジャパン・アドヴァタイザ」ニ出タ英字ノ記事ニハ全文ガ出テ居リマスカラ、ソレヲ御讀ミニナレバ非常ニ能ク分リマス、唯ソレガ耳新シイモノダカラ、ソレダケ抜イテアア云フ風ニシタ爲ニ、殊更アア云フ風ニナツタノデアリマス

ソレカラ第二點ノ「タイ」佛印トノ國境紛爭ニ關スル問題、及ビ蘭印交渉ノ裏ニ於テ色々ナ策謀ガアルト云フコトハ、新聞紙上ニ於テ色々傳ヘラレテ居リマスルガ、是ハ想像ノ報道ガ多クアリマシテ、事實ドレダケノコトガアルト云フコトニ付テハ能ク分リマセヌ、多少ナイデモナイノデアリマスルガ、ソレニ付テ此處デ發表スルコトハ出來マセヌ、併シナガラ「タイ」佛印ノ國境ノ爭ヒヲ平和裡ニ調停スルト云フ此ノ趣旨、及ビ蘭印ニ於テ交渉ニ依ツテ經濟的ニ日本ガ進出スルコト云フコトニ付テハ、英米共ニ何等反對ヲスル理由モナク、又サウ云フコト

ハ差支ナイト云フコトヲ彼等モ言ツテ居ルノデアリマス、隨テ之ヲ進ンデ妨害スルト云フコトハアリ得ナイト思フ、隨ヒマシテ此ノ新聞ニ報道サレテ居ルヤウナ所ハ、主トシテ想像ニ基イタコトト私共見テ居ルノデアリマス、併シ此ノ點ニ付テハ、將來トモ嚴重ニ監視ヲシテ間違ヒナイヤウニ進ミタイト、斯ウ思ツテ居リマス

○森(鑒)委員 今ノ情報局關係ノ大體説明デ分リマシタガ、實ハ私ガ御尋ネシタイト思ツタノハ、アノヤウナ情報局ノ聲明ガ現ハル以前ニ、兎ニ角アレ程大キク取扱ハレル程ノモノニ付テハ、豫メ外務省トシテハ御承知ニナツタ後デナケレバ、公表シナイヤウニサレタ方ガ國家ノ爲ニ宜シイノデハナイカト思ツタカラ御尋ネシタ譯デアリマス、豫メ御打合せハナカツタヤウデアリマスカラ、是モ強ヒテ答メマセヌガ、佛印「タイ」兩國ノ關係及ビ蘭印ノ關係ニ付テハ、實ハモウ少シ立入ツタ御話ガ出來ルナラバ伺ヒタイト思ヒマスガ、コチラノ此ノ會ノ方ヲ祕密會トスルカ、或ハ速記ヲ止メルカ致シマシテモ、御話ハ出來ナイデアリマセウカ

○大橋政府委員 祕密會ニシテ御話シテモ宜イノデアリマスガ、實ハ祕密會ニシテ御話スル程ノ材料モナイノデアリマス、隨ヒマシテ、是ハ先程申上デマシタヤウニ、主トシテ想像ニ基ク所ノ情報デアリマシテ、今マデノ所ハ左程氣ニスル程ノコトハナイ、斯ウ思ツテ居リマス

○森(鑒)委員 是レ以上質問ハアリマセヌ

○松田委員長 ソレデハ青木君

○青木(作)委員 只今森委員ヨリ質問ガアリマシタ際私ハ缺席シテ居リマシタノデ、若シ重複シテ居リマシタナラバ、御答ヘニ

ナリマセヌデモ宜シウゴザイマス、今朝ノ新聞紙ヲ見マスルト、今年一月二十一日成立ノ「タイ」佛印ノ停戰協定ガ、明二十五日ヲ以テ期限満了トナル爲ニ、萬一會談ガ不調惡化ノ場合ニ備ヘテ、「ドク」佛印總督ハ二十一日來親衛部隊ヲ「タイ」佛印國境ニ集結セシメ、「モルダシ」佛印軍司令官以下佛印軍司令部ヲ「ハノイ」ヨリ「サイゴン」ニ移シ、「ベレ」師團長以下南部佛印司令部ヲ「サイゴン」ヨリ「カンボヂヤ」ニ移轉セシメ、又東洋艦隊旗艦「ラモット・ピケ」號以下三隻ヲ「シャム」灣ニ集結セシメテ、國境方面ヲ警戒セシメテ居ルト報道シテ居ルノデアリマス、東京會談ハ我國ガ東亞新秩序建設ノ中心勢力デアアルコトノ實力ヲ示スベキ重大ナル會談デアアルコトハ申スニ及バナ

ノデアリマス、萬一不成立ニ終リ、再び兩者ノ間ニ干戈ヲ交ヘルニ至レバ、我が國ノ東亞共榮圈確立云々々、事實問題トシテ殆ド無價值ニ等シイヤウナ威信ヲ失墜スルノデアリマス、是ニ於テ私ハ質問申上デマスルガ、第一、東京會談ハ今日中ニ成立ノ見込ガアルノデアアルカ、第二、成立セザル場合ニ、停戰協定期限ヲ更ニ延長スルノ協定ガ既ニ成立シテ居ルノデアアルカ、目下其ノ方面ニ努力セラレツツアルノデアアルカドウカ、第三、萬一何レヲモ成立セシムルコト能ハザル場合ハ、「タイ」佛印國境ノ再衝突ハ避クベカラザルモノトナリマスカラ、我が東亞共榮圈內ニ於ケル威信ニ關スルコト大ナルガ故ニ、我が實力ヲ以テシテモ此ノ問題ニ關スル限リ鞏固ナル意思ヲ示シ、其ノ安定ヲ圖ラナケレバナラナイト思ヒマスルガ、政府ハ如何ナル決意ヲ有シテ居ラレルカ、以上、三點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○大橋政府委員 一寸祕密會ニシテ戴キタイト思ヒマス

○松田委員長 ソレデハ祕密會ニ致シマス

〔午後二時三十三分祕密會ニ入ル〕

〔午後二時三十六分祕密會ヲ終ル〕

○松田委員長 祕密會ヲ終リ、公開致シマス、質疑ヲ續行致シマス——世耕君

○世耕委員 陸軍當局ニ對シテ二三點簡單ニ御尋ネ致シマス、昭和十四年七月ノ文書ニ依ツテ調べテ見マス、支那軍ノ現有兵力ハ約二百萬ト大本營ノ陸軍部ハ發表サレテ居ルヤウデアリマス、所ガ是マデノ支那軍ノ戰死、戰病者等ヲ文獻ニ依ツテ調べテ見マスルト、戰死者ハ百萬、尤モ駐米大使胡適氏ハ百二十萬ト「ワシントン」デ發表シテ居ルヤウデアリマスガ、先ヅ是ハ百萬トシマシテ、更ニ戰病者ガ三百万、戰病者ハ普通戰死者ノ三倍ガ常識サウデアリマスガ、之ニ逃亡兵ガ百萬、合計致シマス、支那ノ兵力ハ二ツ折リニシテモマダ足ラナイ位ニ、消エテナクナツテ居ル形ガ數字ニ現レテ來ルノデアリマス、勿論此ノ補強ハ、雜軍ヲ集メテ方法ニ依ツテ得ルデアラウト思ヒマスガ、正規軍ハ既ニ壊滅ニ歸シテ問題ニナラヌト思ヒマスガ、私ガ是カラ御尋ネセントスル所ハ、支那軍ノ日本ノ精銳ナル軍ニ依ツテ壊滅サレタ後ニ、新タニ現ハレテ來タ所謂共產匪賊ノ増大ニ對シテ、特ニ占據地域ニ於ケル治安工作ヲ、ドウ云フ方法ニ依ツテ成功セシメテ居ルカドウカト云フコトヲ御尋ネ致シタイノデアリマス、殊ニ治安ニ最モ關係ヲ持ツベキ新聞工作——支那ノ新聞ハ御承知ノ通り、北支ニ於ケル大公報或ハ益世報トカ云フモノノ數ヲ調べテ見

第六類第一號 昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會會議錄 第十九回 昭和十六年二月二十四日 一七九

マシテモ、僅カニ大公報ハ發行部數一萬五千、益世報ハ四千五百、而モ是ガ支那ニ於ケル唯一ノ新聞デアルト云フ位ノ所デアリマスカラ、之ヲ活用スルノニハ、更ニ新ナル機關ヲ設ケナケレバナライデアラウト云フコトハ、想像付クノデアリマスガ、軍ニ於テ文字ノ上カラノ宣傳工作ハドウ云フヤウナ方法ヲシテ民衆ノ心ヲ捉ヘテ居ルノデアルカ、殊ニ聞ク所ニ依リマス、近衛聲明、平沼聲明モ民衆ノ低イ所ノ支那四億ノ民ノ中ニハ大部分ガ解ツテ居ラス、徹底シテ居ラス、折角有力ナ聲明モ支那四億ノ民衆ニ徹底シナケレバ何ニモナラヌノデヤナイカ、現ニ傳ヘ聞ク所ニ依リマス、會テノ臨時政府ノ組織發表ノ時デモ、居仁堂ニ於テソレガ發表サレタ時ニ、立會ツテ居ル新聞記者ハ矢立ヲ出シテ記事ヲ書イテ居ツタ、無論タ刊ナドハ出ス考ヘハ持ツテ居ナイ、其ノ翌日ニ初メテ新聞ニナツタガ、其ノ部數モ極メテ小範圍デアアル、先ヅ文字ノ上カラノ宣傳工作ヲ陸軍ハドウ云フ風ニ執ツテ居ラレカト云フ點ヲ、一點伺ヒタイノデアリマス

○田中政府委員 初メノ正規軍ハ潰レタ勘定デハナイカト云フ御話デアリマスガ、蔣介石ハ初メ雜軍ヲ第一線ニ立テマシテ、正規軍ヲ後方ニ置イテ複線ノ形デ戰フシテ居ツタノデアリマス、所ガ武漢作戰アタリカラ雜軍ガ一切役ニ立タナクナツテ、今デハ正規軍ヲ第一線ニ立テテ居リマス、正規軍モ御承知ノ南寧作戰、晉南作戰其ノ他ノ作戰デ殆ド叩カレマシテ、現在申スマデモナク支那軍ノ戦力ハ非常ニ低下シテ居ルノデアリマス、二百萬ト云フ大本營ノ發表ハ實際ハ推定兵力デアリマス、私共ノヤウニ、

第一線デ向フノ兵力ト直接戰ツタ者カラ考ヘマス、アノ推定兵力ハ重慶政府ノ文書ニ依ル兵力デアリマシテ、忌憚ナク言ヒマスト、其ノ中デ眞ニ武器ヲ持ツテ居ル者ハ三分ノ一ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、抗戰力モ大シタコトハアリマセヌ

〔速記中止〕

北支モ丁度最近私共ガ歸ル頃ニ方針ガ變リマシテ徹底シテヤツテ居リマス、最近ハ殆ド不祥事件ハ聞エナクナツテ來タ、私ハ元來樂觀シテモノヲ見ル男デアリマスガ、共產軍モ三十萬ト云フ風ニ宣傳サレテ居リマスケレドモ、實體ハ眞ニ日本軍ト戰ヒ切ル共產軍ト云フモノハ、精々一萬ソコノト私ハ見テ居リマス、現ニ昨年ノ晋中作戰ト申シマスガ、石太線北ノ網ニ引掛ケテ殲滅シマス時ニ、朱德ノ政治部長ヲ捕ヘタ、ソレデ私ノ居リマシタ元ノ軍デ宣傳ヲヤツテ居リマスガ、是ガ掛リマシテカラ共產軍ニ對スルヤリ方ガ、最近ノ手紙ニ依リマス、非常ニ深刻ニナツテ參ツテ居ルヤウデス、其ノ男ハ最初カラ共產主義デヤツテ來テ居テ、政治部長トシテ活躍シテ居ル者デアリマスカラ嘘ハ付キマセヌ、其ノ言ヲ聽キマス、實際問題ニシナケレバナラスノハ湖北、湖南カラ四川ヲズツト廻ツテ北支ニ入ツタ奴ダケデアツテ、其ノ以外ハ大シタコトハナイ、最近ハ根據地覆滅ト云フ徹底的作戰ヲ採ツテカラ參ツテシマツタラシ、然ラバ實際ニ於テ共產軍ト稱シテ治安ヲ亂スモノハ何カト云フト、無智ノ住民ナンデス

〔速記中止〕

○田中政府委員 モウ宜シウゴザイマス、結論ヲ申シマスレバ、現在ノ文字ヲ以テス

ル啓蒙ト云フコトハ、非常ニ巧ク行ツテ居ラス、マダノ治安ノ回復ト共ニ宣傳並ニ宣傳ノ方法ハ、大イニ擴充改善ノ餘地ガ澤山アルト思ヒマス、併シ是モ段々慣レテ來タノデ、良クナルダラウト思ヒマス、決シテ共產軍ニ對シテ餘リ恐レフナス必要ハゴザイマセヌ、是ハ北支ノ痛ト言ハレマスケレドモ、私ノヤウニ支那ニ長ク居ツタ者カラ見ルト、四千年來アル農民運動ト見テ居リマス、開發ガ段々出來テ飯ガ食ヘルヤウニナレバ、自然ニ消滅スル、要ハ支那人ニ飯ヲ食ベサスコトデアリマス、彼等ヲシテ食ハシメル、居ニ安ンジ業ヲ樂シマセルト云フコトハ飯ヲ食ハセルト云フコトデス、是ガ好クナレバ自然ニ治マル、今年一年過ギレバ開發モ段々進ンデ來ルカラ、恐ラク北支

蒙疆ニ關スル限り、今年ノ秋位ニナリマシタラ、畫期的ノ結果ガ現ハレルノデハナイカ、隨テ最近段々開發モ進ンデ來マシタノデ、經濟開發ト並行シテ、治安ノ前途ハ餘リ御心配ニナル必要ガナイノデハナイカト、私自身ハ考ヘテ居リマス、是ハ私ノ體驗カラ出ル所デアリマシテ、或ハ御意ニ滿タスカモ知レマセヌガ、私ノ結論ハ斯ウ云フコトデアリマスカラ、ソレヲ御答ヘ致シマス

○世耕委員 體驗カラノ御説明ヲ承ツタノデアリマスカラ敬意ヲ表シマス、是モ他ノ文獻ニ依ツテ調査ヲ得タノデアリマスガ、只今ノ文書ノ問題デアリマス、新聞ヲ活用スル方法ハドウカト云フコトニ付テ一例ヲ申上ゲタイコトハ、是マデハ軍デ「ビラ」ヲ貼ツテモ振向イテモ見ナカツタ、所ガ近頃軍ガ「ビラ」ヲ貼ツタリ宣傳班ガ行ツテ「ビラ」ヲ貼ルト、黒山ノヤウニ人ガ集ツテ來ルト云フコトノ傾向ガ顯著デアルト云フ報告ヲ

得タノデアリマスガ、此ノ點ヲ捉ヘルコトガ私ハ必要デハナイカト云フノデ御願ヒシタノデアリマス

尙ホ次ニ御尋ネ致シタイコトハ、治安ノ維持ヲ確保スル前提條件トシテ、確乎不動ノ所謂對支政策ト云フモノガ確立サレナケレバ、支那人ガ躍イテ來ラレナイノデハナイカ、現ニ韓復榘ガ濟南ヲ去ル時ニ民衆ニ叫ンダノハ、六箇月シタラ日本軍ハ引揚ゲルノダ、又來ルト言ウテ行ツタ、サウ云フコトデハ日本軍ガ幾ラ御努力ナスツテモ無駄ニナリハセヌカ、直グニ通リ拔ケテシマフノダ、日本軍ガ占領スルノデハナイ、通リ拔ケルダケナンダ、ダカラ通リ拔ケル時ダケ忠順ヲ勵ンデ置ケバ宜イノダト云フヤウナコトデハ、治安ノ確保ハ得ラレナイノデハナイカ、殊ニ日本ハ近イ中ニ撤兵スルノデアアル、山東ノ出兵ガ好イ例デハナカツタカ、斯ウ云フコトヲ言ウテ行カレタサウデアリマスガ、斯ウ云フコトハ、若シ國策ニハツキリ決メラレルノデアツタラ、其ノ點ハ明確ニシテ置クコトガ日本ノ爲メデモアリ、支那民衆ノ爲メデモアルデハナイカト思ハレルノデアリマス、斯ウ云フ點ハ御經驗ノ深イ田中局長デアリマスカラ、特ニ御配慮ヲ仰ギタイト云フコトヲ御願ヒシタイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ日本ノ所謂過去ニ於ケル幾多ノ實證ガ、却テ支那民衆ヲシテ不安ヲ得シムルト云フコトガ根本ニアルノデアリマス、ソレヲ一掃シテ戴クコトヲ先ヅ最初ニ考ヘテ貫ハナケレバナラス、只今治安ノ問題ニ付テ局長カラ御話ガゴザイマシタガ、最近新聞ニ發表サレタ實情其ノ他ヲ見マシテモ、治安ノ狀況ノ安定ガ、如何ニ支那民衆ノ生活ノ中ニ顯著ニ

現ハレテ居ルカ、其ノ例ガ蒙疆ノ實情デア
ル、只今局長サンガ仰セラレタヤウニ、蒙
疆ノ關係ガ非常ニ良クナツテ居ルト云フコ
トヲ御説明ニナリマシタ、實ハソレガ農村
ノ收穫ノ上ニ顯著ニ現ハレテ來テ居ル、是
ハ蒙疆政策ノ成功ヲ立證スルモノダト私ハ
思フノデアリマス、所ガ北支方面ノ治安ニ
付テ心強イ御説明ガアリマシタガ、私達ノ
調べ統計ニ依ルト、北支方面ノ農作ハ平
年作マデニ非常ニ離レテ居ル、其ノ原因ハ
ト調ベテ見マス、天候其ノ他ノ關係、治
水關係モアリマスケレドモ、第一ノ原因ハ
治安ノ不安ダト云フコトガ認メラレノデア
リマス、如何ニ治安ト支那民衆生活トノ
經濟關係ガ重大ナ關係デアルカト云フコト
ハ、此ノ點カラ立證サレテ行クト思フノデア
リマス、所ガ相當治安問題ニ付テ效果ヲ
擧ゲテ居ルヤウニ吾々ガ認識シテ居ツタ上
海、南京ノ間ニ於テ、餘リ成績ガ擧ツテ居
ラナイヤウデア、又武漢方面ニ於テモ、
農産物ハ四割乃至五割以上ノ減收ヲ今尙ホ
繼續シテ居ルト云フヤウナコトデハ、治安
ノ成功ト云フコトハ先ヅ言ヒ得ラレナイデ
ハナイカ、斯ウ考ヘラレノデアリマス、
ダカラ此ノ際結論トシテ申上ガタイコトハ、
支那正規軍ト云フモノハ潰滅ニ歸シテ難軍
ダ、軍ノ今後ノ行動ハ寧ロ治安維持ニ重點
ヲ置クベキデハナイカ、而シテ治安ヲ維持
スルコトニ依ツテ、占據地域ノ所謂經濟的
開發ト云フコトガ一番必要デハナイカト思
ハレノデアリマス、其ノ治安維持確立ノ
爲ニ道路或ハ船舶、通信其ノ他ノ問題ガ一
番先ニ問題ニナラナクテハナラヌノデアリ
マスガ、「ドイツ」ハ占據地域内ニ於ケル所
ノ道路其ノ他ノ經濟開發ニ對シテ、其ノ地

域ノ勞力ヲ可ナリ思ヒ切ツテ活用シテ居ル
ヤウデアリマスガ、是ハ日本軍側カラ見マ
シテモ又民衆側カラ見テモ、共同ノ利益ヲ
得ル建前ニ置クノデアリ、支那民衆ノ生活
保持ノ上カラ見テモ、此ノ勞力ヲ或ル程度
マデ強制的ニ利用スルト云フコトハ私ハ必
要ナコトデハナイカ、サウ云フ點ニ付テド
ウ云フヤウナ行キ方ヲシテ居ルカ、ソレカ
ラ現地ニ於ケル所ノ所要物資ハ成ベク現地
デ賄フト云フ建前カラ行キマシテモドウシ
テモ治安ト云フコトガ必要デアリマスガ、
以上ノ諸點カラ見マシテ只今申シマシタ現
地ノ物資ヲ經濟的ニ活用スルト同時ニ其ノ
勞力ノ活用方法如何ト云フコトニ付テ意見
ヲ伺ツテ置キマス

先ヅ支那民衆ガ大分日本ニ付イテ來ル、斯
ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、蒙疆ノ治安ノ
良イノモソレデアリマス、彼處ハ一番先ニ
建築ニ著手シタノデアリマス、是ハ動力カ
ゾト云フコトニナルト皆付イテ來ルノデア
リマス、事大根性ノ民族デアリマス、何デ
モ山西ニ於キマシテモ非常ニ治安ガ惡カッ
タノデアリマスガ、兵營建築ヲ始メテカラ
支那民衆ガ付イテ來ルヤウニナツタ、モウ
一ツハ鐵道ヲ架ケルコトデアリマス、鐵道
ヲ架ケルト必ズ治安ガ良クナル、架ケタ當
線ト云フモノヲ架ケマシタシ、山西省内ニ
於テモドン／＼輕便鐵道ヲ架ケテ居リマス、
鐵道ヲ架ケルト治安ガ良クナル、架ケタ當
座ハ、成程一時盛ンニ破壞ニ來マスガ、諦
メルトバツト良クナリマス、滿洲ノ治安ガ
最近ノヤウニ匪賊ニ三千ト云フヤウニナリ
マシタノモ、勿論軍隊ノ力モアリマスケレ
ドモ、彼處ニ鐵道網ガ非常ニ發達シテ來タ
ト云フノガ一ツノ理由デアリマス、一番惡
カツタ吉林省、三江省、東邊道ガ非常ニ良
クナツテ、最近ハ熱河ガ惡クナツタ、惡ク
ナツタノデハナク、一方ガ良クナツタカラ
惡ク見エノデアリマス、交通通信ノ發達
ト云フコトガ治安維持ノ根本デアリマス、
私ハ斯ウ考ヘルノデアリマス、此ノ點ハ近
頃ドウシテ居ルカト云フト、初メハ宣撫ノ
爲ニ人夫アタリニ金ヲ出シテ居ツタ、所ガ
金ヲ出スト云フト一ツノ道路ヲ造ルノニモ
ウント金ガ要ルノデアリマス、最近ハドウ
シテ居ルカト云フト、「パン」ダケケルノデ
アリマス、麵ヲ一日食ヘルダケケル、サウシ
テ各地ニ於テ今微用ヲヤツテ居ル、此ノ結
果北支ニ於ケル道路ハ非常ニ良クナツテ居
ル、山西邊リハ閻錫山時代ヨリモ寧ロ道路

ハ發達シタ、北支モ世耕サンハ昨年ハ平年
作以下ト仰シヤイマシタガ、山西ハ平年作
以上デアリマシタ、出廻リガ大變良クナリ
マシタ、北支モ今年ハ良イダラウト思ヒマ
ス、現在治安第一主義デ行ツテ居ルノガ蒙
疆ト北支デアリマス、永久ニ彼處ハ駐兵スル、
サウ云フ方針ノヤウニ承ツテ居リマス、上
海、漢口——上海邊モ最近ハ治安第一主義
デアリマシテ、恐ラク本年度ハ良クナリマ
ス、今申シタヤウニ作戰行動ハ逐次治安第
一主義ニ移リマシテ、經濟開發ト併行シテ
ヤツテ居リマスカラ、現在ノ支那事變ニ對
スル悲觀的ナ材料ハ恐ラク段々ナクナツテ
來ルト思ヒマス、ト申シマスノハ石油ガナ
イノデ自動車ガ動力カスト申シマスガ、モウ
少シ北支デ勉強スルト日本ノ石油ヲ全部賄
ツテ餘リアル、彼處ニ炭礦ガアリマス、ソ
レハ陽泉炭デアリマスガ、純無煙炭デ三億
「トン」以上デアリマス、各自動車ニ瓦斯發
爐ヲ付ケテ陽泉炭ヲ御使ヒニナレバ、「キ
ロ」ノ塊リデ五十九「キロ」走レル、是ハ確實
ニ試驗ヲシタ結果デアリマス、最近東京市
ノ「バス」ナドデ使ヒ始メタ、斯クスルコト
ニ依ツテ日本ノ漁船問題ナドモ解決スルト
思ヒマス、是ハ陽泉炭デナケレバイケナイ、
京壤ノ無煙炭ハ駄目デス、石灰分ガアツテ
ウ云フヤウナ方面ニモ貢獻スルノデス、ソ
レカラ鐵ガ足ラヌト云ヒマスケレドモ、山
西デハ最近閻錫山時代ニ造リ掛ケタ熔鑪爐
ヲスツカリ良クシテ、年ニ六、七万「トン」出
ルノデアリマス、六、七万「トン」ノ鐵ト云フ
ト北支全般ヲ賄フノデアリマス、隨ヒマシ
テ段々彼處ノ北京ノ西ニ出來テ居ル熔鑪爐
カラ出ル鐵アタリハ、逐次内地ニ來ルヤウ

ニナリマス、私共ノ考ヘ方デハ山西邊
リヲ開發スレバ北支ノ需要ヲ充タス、平
津一帯ノモノハ皆日本ニ持ツテ來ルト云
フ考ヘ方ヲシテ居ル、サウ云フコトガ段々
行ハレテ參リマス、日本ノ物資ノ不足モ
大部分補ハレルト思ヒマス、一寸餘談
ニナリマスケレドモ、山東ニ在ル泰山山脈
ノ開發ト山西ノ開發ヲヤレバ大シタモノデ
ス、泰山山脈ハ東洋デ一番地層ノ古い所デ
アル、濟南ヲ中心トシテ泰山山脈ヲ積極的
ニ開發ヲシ、同時ニ又大行山脈ノ開發ヲヤ
レバ、百年ヤ二百年日本ハ資源ニハ困ラナ
イ、鐵、石炭、人造石油方面ニ於キマシテ
サウ云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、
ソレデ先ヅ先刻申シマシタヤウニ手取早ク
治安ヲ良クスルノハ、軍隊ノ永久駐兵ト交
通通信ノ開發ヲ同時ニ並行シテヤル、サウ
シテ經濟開發ヲスル、之ニ依リマシテ日本
人ノ努力如何ニ依ツテハ、現在稍、一部ニ悲
觀サレツアル支那問題ノ處理ト云フコト
ハ、手取早ク行キハセヌカト思ヒマス、兎
角世間デハ重慶ガ倒レナケレバ駄目ダト言
ヒマケレドモ、現在日本軍ノ占領シテ居ル
所ハ、上海ノ「デルタ」地方デモ、北支デモ
支那ノ一番良イ所デアル、言ヒ換ヘレバ牛
肉ノ「ロース」デス、之ヲ巧ミニ處理スレバ、
重慶ガ倒レヨウガ倒レマイガ問題ハナイノ
デス、アア云フモノニ少シモ因ハレル必要
ハナイト云フノガ私ノ考ヘ方デス、現ニ蔣
介石ハ昭和六年マデハ四川ニハ手ガ入ラナ
カツタノデス、四川ト云フノハ全然對立シ
タ政權ダツタ、隨ヒマシテ兎角重慶政權、
蔣介石ヲ問題ニサレマスガ、アア云フモノ
ハ默殺シテシマヘ、要ハ現在ノ占領地域ヲ
經濟的ニ開發スルト云フコトガ必要デアル、

斯クスルコトニ依ツテ日本ノ國益ヲ増シ、
支那ノ國益ヲ増シ、其ノ中ニ段々經濟關係
ト云フモノガ緊密ニナツテ來ル、ドウシテ
モ日本ト離レテハナラヌト云フコトニナツ
テ來ル、隨テ政治關係モ緊密ニナツテ來ル、
又ソコニ重慶ヤ雲南ニ於ケル蔣介石政權ナ
ド默殺スレバ宜イデヤナイカ、アレハ百年
生キテ居ツテモ害ヲナサナケレバ宜イデヤ
ナイカト云フノガ私ノ考ヘ方デアリマスガ、
國民諸君モ肚ヲ大キク持ツテ斯ウ云フ風ニ
考ヘテ戴キタイ、兵力ナドモ、陸軍ハ馬鹿
ヂヤナイカラ、兵力ヲ澤山置イテ日本ノ國
力ヲ消耗スルヤウナコトハヤリハシマセヌ、
經濟開發ト並行スルヤウニ考ヘテ居ルノデ
アリマス、此ノ點私自身トシテハ治安第一
主義デ進ム、同時ニ開發ヲヤル、更ニ日本
ノ利益ヲウント増ス、同時ニ支那人ニモ利
益ヲヤル「ギブ・アンド・テーク」ト言ヒマス
カ、與ヘテ取ルト云フ方法デ行クコトニ依
ツテ、初メテ支那事變ハ根本的解決ヲ見ル、
重慶政權ヲ倒ストカ倒サヌト云フコトハ、
未ダト云フヤウニ考ヘテ居リマス、但シ重
慶政府ニ付イテ居ル外國、是ハ處理シナケ
レバナラス、重慶政權ヲ支持シツツアル外
國、是ハ大イニヤラナケレバナラス、言ヒ
換ヘレバ私ハ九州ハ平定シタ、其ノ次ハ三
韓ダ、朝鮮ダト云フ風ニ考ヘテ居ル、支
那事變ハモウ既ニ峠ヲ越シテ居ルノデス、
要スルニ支那ガ離スベカラザル地點ハ日本
ガ取ツタ、汪精衛トノ條約ニ依ツテ、此ノ
地點ハ徹底的ニ治安ヲ良クシテ、日本ノ國
家ノ利益ニスル、又支那人ノ利益ニ於テ開
發スルト云フコトガ、今後執ラレベキ國策
デハナイカ、重慶政權ヲ潰スノハ根幹デハ
ナイト思ツテ居ル、ソレハ附帶シタモノデ

アル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、此ノ
點ニ於キマシテ、世耕サンノ言ハレル治安
第一主義ニハ全面的ノ賛意ヲ表スル次第デ
アリマス、非常ニ長ラク御喋リシマシタガ、
此ノ機會ニ私ノ考ヘ方ヲ申上ゲテ置キマス
○世耕委員 只今局長カラ詳細ニ互ツテ御
説明ガアリマシタ、殊ニ力強い對支政策ノ
根本觀念ニ付テ、隔意ナイ御意見ヲ承ツタ
コトニ對シテ、有難ク感謝ヲ致シマス、ソ
レデ吾々モ非常ニ安心シタノデアリマスガ、
田中サンノヤウナ明徹ナ頭デ御判斷シテ下
サル軍部ノ方ガ多數アルト云フコトヲ信ジ
マスケレドモ、吾々聞達ヒカモ知レヌガ、
實ハ時々軟論ヲ軍ノ一部カラ聞カヌ譯デモ
ナイノデアリマス、若シサウ云フヤウナ人達
ガ事實ニアルトシタナラバ、アナタノ今御
述ベニナツタヤウナ御氣持デ粉碎シテ戴ク
コトヲ、私ハ切望シテ已マナイノデアリマス、
又兵舎ヲ建テタ所ガ、ソレデ治安工作、即チ
宣撫工作ガ立ドコロニ實效ヲ現ハシタト云
フコトニ付テ、吾々モ二三聞見ヲ得テ居ル
ノデアリマス、某地點ニ於テドウシテモ治安
工作ガ不成功ニ終ツテ居ル時ニ、兵舎ヲ建
テ始メタ所ガ、段々靜マツテシマシテ、終ヒ
ニ兵舎ガ建ツタ時ニハ、今マデ軍票ヲ厭ヤ
ガツテ取ラナカツタノニ、軍票ノ値ガ上ツ
タト云フ實例ガアルヤウデアリマシテ、只今
引例サレタ御説明ガ、私達ニピント來ルノ
デアリマスガ、ドウゾ其ノ御氣持デ軍ノ中
ノ更ニ推進力トナツテ御進ミ下サルコトヲ、
國民ノ一人トシテ衷心カラ希望シテ已マナ
イ次第デアリマス、尙ホ最後ニ簡單ニ一點
御聽キシタイト思ヒマスルコトハ、昨年モ
御尋ネシテ置キマシタノデスガ、兵備ノ改
善ニ密接ナ關係ノアル技術者ニ付デアリ

マス、
〔委員長退席、樋口委員長代理着席〕
實ハ陸軍モ是マデ、相當苦心ヲナサレテ居
ルヤウデアリマシタガ、ドウモ陸軍ニハ良イ
技術者ガ寄リ付カヌト云フコトヲ、二、三
吾々モ聞クノデアリマス、之ニ付テハ將來
必ズ改善シテ——寧ロ優秀ナ技術者ヲシテ
陸軍ニ來得ラレルヤウナ途ヲ開クト云フコ
トヲ、昨年言明サレテ居ツタノデアリマス
ガ、本年ハドウ云フ計畫ニ出テ居ルカドウ
カ、モウ一ツハ、英米ニ例ヲ採ツテ申上ゲ
テモ差支ヘナイノデアリマスガ、例ヘバ「ド
イツ」アタリデハ、航空長官トカ航空相トカ
云フヤウナ將軍ハ、必ズ飛行機ニ乗ツタ人
デ、飛行技術ノ專門家ガ其ノ長官ニナル、
英米其ノ他各國トモ是ガ多カラウト思フノ
デアリマス、所ガ我が陸軍ハ多クノ場合、
歩兵科出身ノ人ニ依ツテ、其ノ地位ヲ占メ
ラレルト云フコトハ、特殊技術ヲ要スル方
面カラ見テ、果シテ妥當ナリヤ如何ト云フ
所ニ、一點ノ疑問ヲ持ツテル居ノデアリマ
ス、此ノ點ニ付テ將來ドウ云フ風ニ考ヘテ
居ラレルカ、モウ一點最後ニ伺ツテ置キマ
スガ、現役軍人ガ出征シタ場合ト、召集軍
人ガ出征シタ場合ノ進級ノ狀況、竝ニ戰線
カラ移動スル場合、出征軍人ノ方ハ或ル地
方ニヤラレルト膠着シタ狀態デ居ルガ、現
役軍人ノ方ハソコヘ行クト、移動命令デ他
ヘ行ツテ、更ニ内地歸還モ出來ル、或ハ進
級ノ度合ヒガ早イト云フコトヲ、二、三聽
カヌデモナイノデアリマス、特ニ將校ノ場
合ニ、其ノ間ノ區別ガアルヤウニ聽イテ居
ルノデスガ、若シ事實アリトスルナラバ、
之ニ對スル何カノ改革ガアツテ然ルベキダ
ト思フノデスガ、此ノ三點ニ付テ御尋ネシ

テ置キタイと思フノデアリマス

○田中政府委員 第一ノ技術者デアリマスガ、本年度ニ於キマシテハ、技術者ノ優秀ナ者ガ既ニ兵器本部アタリデハ課長ニナツテ居リマス、近ク陸軍砲工學校ノ根本改組ヲヤリマシテ、眞ニ陸軍技術ノ中心ニスルト云フ案ガ出來テ、明年度ハ實現スルト思ヒマス、尙ホ技術者ノ優遇ト云フコトニ付キマシテハ、既ニ陸軍省ニ於キマシテモ十考分ヘテ居リマス、是ハ言換ヘレバ、待遇改善ト同時ニ、質ノ良イ者ガ今マデ來ナカッタ、ソレニ恐ラク非常ナ努力ヲシテ來ルダラウト思ヒマス、尙ホ國民全般ノ技術的頭腦方面ノ進展ヲ圖リ、各兵科共ニ士官學校ヲ卒業シテ、其ノ方面ノ頭ノアル者ヲ陸軍砲工學校——近ク是ハ化學學校ト稱スルノデアリマスガ、陸軍化學學校ニ入レマシテ、伸ビルダケ之ヲ十分伸バスト云フヤウニ考ヘテ居リマス、アト五、六年モ経テバ恐ラク效果ガ現ハレルと思ヒマス、最近軍事科學ト云ヒマスガ、技術ト云ヒマスガ、此ノ方面ノ充實ト發展ヲ圖ル必要ヲ心カラ悟ツテ居リマスノデ、恐ラク良クナルト思ヒマス、私亦其ノ方面ノ學校關係ノ主務者デアリマス、今非常ニ部下ヲ激勵シマシテ、最新ノ行キ方ヲシヨウト云フ譯デ鞭撻中デアリマス

第二點ノ航空ノコト、是ハ御言葉ノ通りデアリマシテ、現在航空技術ニ關係シタ者デ長官ニナリ得ル人ガナイノデアリマス、發達ガ遅レテ居ルノデアリマス、最近ヤツト少將級ト大佐級ニ優秀ナ者ガ出テ來マシタ、隨ヒマシテモウ四、五年モ経テバ、日本ノ航空關係ニ於テハ、他兵科カラ轉科シタ者ハ恐ラク全部ナクナリマシテ、眞ニ航

空デ育ツタ者ガ首腦部ヲ占メルヤウニナルダラウト私ハ考ヘルノデアリマス、併シ又必ズシモ他兵科カラ轉科シタ者ガ惡イトモ言ヘナイノデアリマス、中ニ八年ヲ取ツテモ飛行機ヲ操縦シテ、眞劍ニ航空ノ發達ニ努力シテ居ル人モアルノデアリマス、又航空技術ノ出身者、飛行機ヲ操縦シタ人デ、優秀デナイ人モ段々出テ來ルノデアリマシテ、必ズシモ兵種ダケニハ限ラナイノデアリマス、併シ眞ニ航空デ育ツタ人ガ首腦部ニ立ツ頃ハ、恐ラク日本ノ空軍ハ名實共ニ世界無敵ニナリハセヌカト思ヒマス、技術ト同時ニ氣魄デアリマス、何ト申シマシテモ日本ノ將校ノ氣魄——是ハ私共ノモンハシ——ニモ一寸行ツテ來マシタガ、實際頭ガ下ルノデアリマス、速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

要ハ人デアリマス、一切ノコトハ人ト思ヒマスガ、今申サレマシタヤウニ、途中カラ入ツタ人デナクシテ、眞ニ航空デ育ツタ人ガ航空全般ノ要職ヲ占メルヤウニナレバ、洵ニ頼モシイ空軍ガ出來ルト云フヤウニ御答ヘシマシテ、折角サウ云フ方面ハ今ヤツト其ノ時ニ達セントシテ居ルノデアリマスカラ、御安心下サイマスヤウ願ヒマス

〔委員長着席、樋口委員長代理退席〕

第三ハ召集將校ノコトデアリマス、是ハ實ハ違フノデアリマス、召集將校ハ召集サレテカラ一年位経ツテ中尉ニナリマス、大尉ニナルカナラスカト云フ問題デアリマスガ、是ハ又非常ニ問題ナノデアリマシテ、大尉ニシテ歸シテ、諸テソレヲ召集シタ時ニ果シテ中隊長ガ勤マルカト云フ問題デアリマス、速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

世耕サンノ仰シヤツタ現役將校ト豫備將校トハ違フデハナイカ、ソレハ違ツタ時代モアリマシタ、餘リ現役ノ將校ガ足ラナカツタノデ急速ニ昇進サレタコトガアリマスガ最近ハ略、同ジニナツテ居リマス、隨ヒマシテ去年ノ春頃マデハ不平ハアリマシタガ、最近デハ其ノ不平ハナクナツタ筈デアリマス、唯、吳々モ申シマスガ、陸軍ノ昇進ハ勿論恩賞ノ意味モ一部アリマスガ、戰時適任ナ職ニ就カスコトヲ根柢ニシテ居リマスノデ、其ノ點確カニ不平ガアリマスガ、御諒承願ヒマス、先刻申シマシタ大正ノ平和時代ノヤウナ醜態ヲ繰返シマスルト、實際戰ニ敗ケルノデアリマス、此ノ點御諒承願ヒマス

○宇賀委員 私ハ只今兵務局長ノ極メテ率直ナル御話ヲ承ツテ洵ニ吾々ノ意ヲ強ウスルモノガアルノデアリマスガ、唯今北支ノ占領地域内ニ於ケル治安維持ト、經濟開發ノコトニ付キマシテ、局長カラ先ヅ第一ガ治安主義、其ノ第二ガ經濟開發主義デアルスウ云フ御説明ヲ承ツテ、私共洵ニ其ノ局長ノ御方針ガ陸軍ノ御方針デアルト思ヒマシテ心強ク感ズルノデアリマス、所ガ北支ハ何時占領ナスツタカト言ヘバ、昭和十二年ノ暮ニハ北支ノ方ハ一帯ニ占領ナスツテ居ルノデアリマスガ、昨今マデニ色々ト向フカラ來ベキ物資ガ中々豫定ノ通りニ來ナイ、陸軍材料資金特別會計法ト云フヤウナモノヲ作りマシテ御努力ナスツテ、軍ノ必要ノモノ、或ハ内地ニ必要ナ物資ヲ御買ヒニナツテ居ルヤウデアリマスガ、私共ハ實ハモウ今カラ二年バカリ前カラ首ヲ長クシテ、北支ノ方ハ治安ガ維持サレテ居ル、隨テ棉花モ相當ニ收穫サレルシ、又石炭モア

〔速記中止〕

ル、殊ニ是ハ製鐵用石炭デアルト云フヤウナコトモ聞カサレマスルシ、其ノ他色々ナ物資ガ豐富ニアルト云フコトヲ聞カサレテ實ハ首ヲ長クシテ斯ウ云フ物資ガ續々ト日本ニ入ツテ來テ、日本ノ戰時財政ニ貢獻サレルコトヲ希望シテ居タノデアリマシタガ、中々ヤツテ來ナカツタノデアリマス、只今局長ノ御話ヲ承リマスルト、相當治安モ維持サレテ居ルシ、物資モ追々ト來ルヤウニナツタヤウデアリマスガ——是ハ一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○田中政府委員 一體日本人ノ持ツテ居ル統計モサウデス、殊ニ日本ノ新聞社ハ澤山統計ヲ取ツテ發表スルガ、アレハ共產黨ノ……一寸速記ヲ止メテ……

○松田委員長 中野君
○中野(寅)委員 只今田中兵務局長サンカラ、陸軍デハ技術家ヲ優遇スル方針デアルト云フコトヲ申サレマシタガ、ソレハ洵ニ結構デアリマス、ソレデ航空學校ニ心膽ヲ練ル坐禪ノ講座ヲ置ク必要アリト私ハ信ジテ居リマス、私ハ昭和十四年ノ十月、新潟カラ乗船シマシテ北支、北滿ヲ經テソレカラ哈爾濱、新京ノ方カラ朝鮮全道ノ旱害ノ狀況ヲ視テ、十一月十八日ニ歸ツテ來タノデアリマスガ、其ノ時丁度「モンハン」ノ激戰當時、敵機五十一機ヲ擊墜シタ勇將篠原少尉サンノ英靈ト一緒ニ奉天マデ參リマシタ、其ノ戰ノ様子ヲ聞クト、此ノ篠原少尉サンハ生レナガラニシテ坐禪ヲヤツテ居ラレタ人ト同ジ沈着ナ考ヘヲ持ツテ居ラレタサウデス、ソレデ私ガ航空學校ニ行ツタ時ニ、此ノ坐禪ノ一科ヲ置ク必

要アリト思フガト將校五、六人ニ聞イタラ、ソレハ至極必要デアル、隨分落着イテ居ルト思フケレドモ、ヤハリ右カラ左カラ敵機ガ迫ル時ニハ、ヤハリヒョト動搖スル時モアル、斯ウ云フコトヲ聞キマシタカラ、航空學校ニ坐禪、即チ禪學ノ講座ヲ置ク必要アリト思ヒマス、兩頭俱ニ坐斷スレバ八面清風起ルノデアリマスカラ、篠原少尉ノ如キア云フ沈着ナ剛毅ナ將校ヲ多ク作ルト云フコトガ必要ト存ジマシテ、此ノ講座ヲ置ク必要アリト信ジマスガ、御當局ハ如何思召シマスカ

○田中政府委員 私モ士官學校ニ居リマシ時分ニハドウモ死スコトハ厭デ、ドウシテモ死スコトヲ考ヘルト厭ニナリマシテ、煩悶シテ結局坐禪ヲヤツタコトモアリマス、今ノ軍人ハ默ツテハ居リマスケレドモ、實際軍人ノ一番ノ煩悶ハ、ドウシテ快ク死ヌカト云フコトニアルデアリマス、ソコデ航空學校ノミナラス、坐禪ト云フ風ナ所謂心膽ヲ練ルコトハ必要ガアリマス、唯之ヲ講座トシテ強制的ニヤルコトノ效果ト、各人ヲ先輩ガ精神的ニ指導シテ行ツテ、自發的ニサウ云フヤウナ方向ヘ向ツテ行クヤウニスルコトトドチラガ宜イカト云フコトニ付テハ、研究ノ餘地ガアルト存ジマス、坐禪ノ如キ所謂禪ニ依ツテ心膽ヲ練ルコトハ確カニ必要デアリマス、實ハ白狀致シマスト、私ノ經驗ニ依ルト、私モ坐禪ハ大分ヤツテ見マシタ、所ガ身不肖ニシテドウシテモ巧ク行カヌ、ソコデ結局私ハ武道ヲヤツタノデス、今デモ氣違ヒノヤウニヤツテ居リマス、劍禪一致ト申シマスガ、劍道ナリ柔道ナリニ徹底シテ見ルト、ヤハリ落着イテ來ルノデアリマス、私兵務局長ニナリマ

シテカラハ武道ノ獎勵ヲ全軍ニ要求シテ居リマス、殊ニ將校ノ嗜ミトシテ武道ガ出來スト云フコトデハイカスト云フノデ、大分最近ハ武道ニ依ル心膽ノ練磨ト云フコトガ流行ツテ來テ居リマス、中野君仰セノ如ク禪ニ依ル心膽ノ練磨ハ確ニ良イ方法デアリマス、若シ武道ヲ行ヒ禪ヲ行ツタナラバ、十人ノ中少クトモ二人ヤ三人ハ本當ニ死生ヲ超越シタ名將ガ出來ルト確信シテ居リマス、唯之ヲ講座トスルト云フコトニ付テハ、百人集メテヤラセテモ、其ノ中デ物ニナルノハ少イノデス、中野サンモ御經驗ガアルカモ知レマセヌガ、強制的ニ坐禪ヲヤラセテモ、或ル寺ヲ御覽ニナツテモ分ルガ、其處ニハ僧侶ガ澤山居リマスガ、アレデハ良イ僧侶ハ出テ來ナイ、一人カ二人シカ良イ僧侶ハ出テ來ナイト同様、航空學校デ強制的ニ坐禪ヲヤラシテモ、中ニハ碌ナコトハ考ヘナイ、頭ノ中デハ直グ他ノコトヲ考ヘル、サウ云フ者モアリマスノデ、サウ云フコトヨリモ寧ろ先輩ガウント指導シテ、眞ニモノニナル者ヲ自分ノ師匠ノ禪宗坊主ノ所ヘ連レテ行クナリ何ナリシテ、指導スル方ガ效果的ニ良クナルノデハナイカト思ヒマスガ、尙ホ是ハ即答致シ兼ねマスノデ、ドウカ研究サセテ戴キマス、禪ト云フモノハ確カニ宜イモノデアリマス

○樋口委員 簡單ニ此ノ機會ニ陸軍當局ニ御願ヒ致シタイコトガアリマス、事ハ經理局ノ方ニ屬スルコトデアリマスガ、昨年以來喧シイ所ノ一昨年農林省令デ出テ居ル家兎屠殺制限規則ノコトデアリマス、是ハ事變ガ始マツテカラ、毛皮ノ必要アリトシテ、之ヲ家兎ニ求メルコトニナツタ、以前ニハ山羊ナドヲ使ツテ居ツタ、其ノ代リニ兎毛

ヲ使フ、ソレデ全國ノ農家ニ對シテ其ノ繁殖ヲ喧シク言ツテ來ラレタノデアリマス、私共其ノ衝ニ當リマシテ、強ヒテ種ヲ求メテ繁殖ヲサセテ、漸次殖エテ參ツタノデアリマス、ソコヘ一昨年屠殺禁止令ガ出マシテ、ソレニハ五月一日カリ十月三十一日マデト云フコトニナツテ居リマス、御承知ノ通り兎ハ六箇月デ成兎ニナリマス、一月ニ出マシタモノヲ十月三十日マデ屠殺ガ出來スト云フコトニナリマス、一向ニ發育ノ經濟的デナイモノヲ飼ハナケレバナラスト云フノデ、本年ハ確カニ御調ベニナレバ減ジテ居ル筈デアリマス、之ヲ續ケテ行キマスレバ、來年ハウント減ジテシマフ、ソコデ御願ヒツシタイノハ斯ウ云フコトデアリマス、事變ノ起リマシタ時ノ家兎獎勵ノ目的ハ單ニ毛皮ニ置カレタ譯デアリマス、ソレデ軍用ヨリ外ニ賣レヌト云フコトニナツテ居リマスガ、今日ノ此ノ食糧不足ノ時代ニ於テハ、サウ云フ考ヘデハイカヌ、毛皮ハ勿論ノコトデアリマスガ、肉モ用ヒル、肥料ヲ取ル、斯ウ云フコトカラ行キマス、是位迅速ナモノハナイノデアリマス、現在ノ我國ノ狀態ヲ見マス、牛モ足ラス、豚モ足ラヌ、雞モ足ラス、ソコデ家兎ヲ以テ補ハナケレバナラス、是ハ農林省ノ計畫カ軍隊ノ計畫カ知ラスガ、兎ト云フモノハ今年一年積極的ニ繁殖サセレバ恐ラクハ倍ニナルノデアリマス、家兎ハ合理的ニヤレバ一番ガ一年ニ二百頭ニナリマス、十分ノ一ノ二十頭ト見テモアノ計畫ノ二倍ハ出來ルノデアリマス、肉ノ量ハドウカト言ヒマス、我が國ノ肉ハ牛肉、魚肉ヲ通ジテ約四千萬貫ト稱セラレテ居リマス、兎肉ハ約二千萬貫ハアルノデアリマス、優ニ二千萬貫ノモノガ

取レルノデアリマス、ソレデハ肥料ハドウカト言ヒマス、我が國ノ耕作反別ハ六百萬町歩デアリマスガ、其ノ中ノ半分三百萬町歩ハ一年兎ヲ積極的ニ繁殖セシメレバ出來ルノデゴザイマス、之ヲモウ一年奮發スルナラバ、我が國ノ肥料ハ恐ラクハ養兎デ出來ル、我が國ハ從來養兎ト云フモノヲ輕ンジテ、畜産ノ中ヘモ入レナイ、玩具同様ニ扱ツテ居ツタノデゴザイマス、今日養鶏ト云ヒマスケレドモ、養鶏ハ飼料ヲ外國ニ求メナケレバナラス、所ガ兎ハ飼料モ要ラズ、繁殖ハ極メテ早イ、サウシテ餘ツタモノハ輸出ガ出來ル、我が國ノ「メリケン」種ヲ飼ヒマスレバ、世界ノ市場ヘ行キマシテモ「ベルギー」アタリノモノハ一番良クテ○五「ポンド」位シカナイノニ、我が國ノハ一・三九「ポンド」位ノ値打ガアル、而モ一「ポンド」ノ皮ハ外國ノモノハ三枚、四枚位デスガ、日本ノモノハ其ノ三倍デアル、我が國ノ如ク養兎ニ最モ適當ナ地方ガ多イ現情ヲ考ヘマス時ニ、斯ウ云フ屠殺禁止ヲ致サレマスガ爲ニ、折角ノ計畫ヲ立テマシタモノガ漸次減退シテ行キマスノミナラス、今日毛皮ノ上カラ申シマシテモ、肉ノ上カラ言ツテモ、肥料カラ申シテモ、ドウシテモ養兎ヲ以テ之ヲ補ツテ行ク必要ガアリマスノデ、昨年來ヤカマシク陸軍ノ御當局ヲ通ジ農林省ヘ掛合ツタ、其ノ後ニ何度モ農林省ニ行キマスガ、歸スル所ハ陸軍ノ方ガ之ヲ必要トスルノデ、ドウシテモ此ノ禁止ヲ解ク譯ニハイカスト云フ御話デゴザイマス、思フニ陸軍ノ言ハレルノハ毛皮デアリマス、毛皮ハ九月、十月御求メニナリサヘスレバ、ソシテ五月一日カラ止メル必要ハナイ、モウ一ツハ繁殖ヲ却テ妨ゲルト云フ御話デ、

夏中殺サズニ置クト餘計繁殖スルト云フ御説アリマス、是ハ大ナル間違ヒデアル、サウシテ三箇月目ニ發情スルト云フヤウナコトヲ言ツテ居ルノデゴザイマスガ、是モ大ナル間違ヒデアル、家鬼ハ六箇月目ニ親ニナリ、交尾サセテ三十日目ニ産ム、時間モ間違ヘスヤウニキチツト産ム、ソコデ産ンデカラ、直グニ二日目ニ交尾サセレバ必ズ完全ニ受胎スルノデアリマス、サウシテ三十日經テバ生レルノデアリマス、腹ノ中デハ中ノ子ヲ育テ、乳デハ外ノ子ヲ育テルト云フ位親鬼ノ繁殖力ノ強イモノデアリマスカラ、結局一番居レバ二百匹ト云フ鬼ガ出來ルト云フ位早イ、ソレデ鬼ノ計算ヲスレバビツクリシテ桁ノ間違ツテ居リヤセスカト思フ位デアル、二年ヤルナラバ何十億ト云フ位ニナル、サウスルト肉ハ全體補ヘル、肥料モ取レル、軍隊用ノ毛皮モ良イ物ヲ選ンデ取ルコトガ出來ル、現在ハ足ララデ、全部出シタ物ヲ御買ヒニナルカラ、惡イ物モ買ハナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマスガ、此ノ制限規則ニ依ツテ益足ラヌヤウニナレバ、益、不完全ナ皮ヲ買ハナケレバナラヌヤウニナルノデアリマス、各方面ニ於ケル斯ウ云フ有利ナコトモ結局不可能ニナルト私ハ思ヒマスカラ、今日ノ場合陸軍ハ毛皮ト云フコトノミニ因ハレズシテ、ドウゾ食糧ノ補給、肥料ノ補給、又選擇ヲシテ毛皮ノ良イノヲ取ルト云フコトニナサレバ、軍隊用ノ毛皮ハ其ノ三分ノ一ヲ御取リニナレバ結構出來ルノデアリマス、斯様ナ制限ヲセラレバ益、今申スヤウニ皮ガ減ツテ來ル、減ツテ來ルト惡イノモ使ハナケレバナラヌ、サウスルト益、禁止ヲスルト云フコトニナル、今日ハ斯様ナ状態

デゴザイマシテ、昨年カラ實ハ何度モ陳情ニ及ンデ居ルノデゴザイマス、所ガ此ノ間畜産局長サンノ話デモ、軍隊ノ方トノ話ガ何等付カスト云フコトデアル、ソシナコトハ去年軍務局長サント畜産局長サンノ方ヘ行キマシテ話ヲシタ、其ノ時直グ調ベルト言ツテ、一年過ギタ今日デモ尙且ツ陸軍ノ方ガ斯ウダト言ハレコトハ、農林省ノ方ガ怠慢カ、或ハ陸軍省ガドウシテモソレデナケレバイカスト云フノ御主張ニナツテ居ルノカ、此ノ點ハ今日御分リニナツテ居レバ承リマスルガ、若シ斯様ナコトハ被服廠ノ方デオヤリニナルナラバ、是非斯ウ云フ觀點カラ——最初ノ毛皮一點バリニ行カズシテ、肉食及ビ肥料ノ對策ノ上カラ、何トカ御考慮ヲ煩ハスヤウニ、被服廠當局ノ方ヘ御願ヒ致シタイと思フノデゴザイマス、何カ之ニ付テ御心當リガアリマスカラバ、御答辯ヲ伺ヒタイと思ヒマス、要ハ私ノ望ム所ハ、ドウゾ此ノ制限ヲ撤廢シテ戴クカ、若シハ撤廢ニ近イヤウナ程度ニシテ戴キタイ、私共ハ只今兵務局長サンノ御話ヲ聽キマシテ、實ニ衷心感謝ヲ致シテ居リマス、凡ソ御上デヤラレコトハ、一旦出サレルト云フト、惡クテモドウデモソレヲ止メルコトヲナサラヌノガ從來ノ例デゴザイマス、其處ヘ行キマスト軍隊ハ違フノデゴザイマス、ドウゾ是ハ繁殖ヲ主トスルト云フ點カラ持ツテ行ツテ戴キタイと思ヒマスカラ、ドウカ現狀ヲ御調べニナツテ速カニ撤廢ヲスルト云フ、雅量ト云ヒマスカ、實情ヲ一ツ吞ミ込メ戴キタイ、然ラザレバ今申スヤウニ撤廢ニ近イヤウニシテ戴キタイ、今コンナコトニシテ置イテ、ソレ米ガ足ラヌ、アレガ足ラヌ、何ガ足ラ

スト言ツテ居ル、何トカシテ是ハ作ツテ行カナケレバ相成ラス時ニ、肥料ガ足ラヌ、肥料ハ鬼ヲ飼ヘバ優ニ餘ル、全國ノ肥料ハ鬼ニ依ツテ十分ニ行ク、肉モ十分ニ行ク、斯様ナモノヲ僅カナ軍隊——僅カト申シテハ甚ダ失禮デゴザイマスガ、鬼ノ繁殖ノ上カラ言ヘバ、陸軍ノ用途ト云フモノハ私ハ僅カト申シテ宜イ位ノモノダラウト思フ、積極的ニ之ヲヤラセルナラバ、サウ云フ風ニナルと思ヒマス、此ノ點ニドウゾ一ツ御注意下サイマシテ、今日ノ國策ト致シマシテ、毛皮ノミニ重キヲ置カズ——毛皮ハ必ズ軍隊ニ良イ物ヲ納メル方法ハ幾ラデモアルト思フ、物ヲ潤澤ニシテ其ノ中カラ良イ物ヲ選擇シ、サウシテ今ノ各方面ノ目的ヲ達スルヤウニセラレルノニハ、ドウゾ此ノ制限令ヲ撤廢若シハ撤廢ニ近イヤウニ、陸軍當局ニ繰返シ御願ヒスル次第デアリマ

ス

○森田政府委員 只今屠殺ノ制限ニ付キマシテ、昨年來色々問題ニナツテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、私ハ其ノ事情ヲ能ク承知致シテ居リマセヌケレドモ、樋口サンノ御意見ハ、極メテ有意義ナ御意見ト拜聽致シマシタ、十分參考ニ致シマシテ、今後出來ルコトナラバ、成ベク速カニ制限ヲ解クコトニ努力シタイと思ヒマス

○松田委員長 是デ陸軍ニ對スル質問ハ終リマシタ、川俣君、商工省ニ何カ御尋ネガアツタサウデスガ、一ツ簡單ニ御願ヒ致シマ

○川俣委員 商工省ニ對スル質問デ殘シテ置イタ點ガアリマスノデ、成ベク切詰メテ質問致シマスカラ、其ノ點ニ御答辯願ヒタイと思ヒマス、鑛山地帶ニ對スル物資ノ配給ノコトデゴザイマスガ、今マデ鑛山ヲ經營致ス上カラシテ、産業組合法ニ依ル所ノ購買組合、販賣組合ヲ以テ、従業員ニ對スル物資ノ配給ニ充テテ居ツタノデゴザイマスガ、最近農林省ト商工省トノ摩擦カラシテ、産業組合法ニ依ル産業組合ノ物資ノ配給ニ付テ、商工省ガ商業組合ヲ通ジテ物資ヲ配給シヨウト云フ、商工省ト農林省トノ意見ノ對立ノ爲ニ、商工省ノ所管ニアル所ノ鑛山ノ配給機關ガ、非常ニ難子扱ヒニサレマシテ、苦難ニ陥ツテ居ル實情ニアルノデアリマス、之ニ對スル對策ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイと思フ

○堀政府委員 商工省ニ於キマシテ物資ノ配給機構ヲ考ヘマス場合、眼目ハ申スマデモナク物資ガ圓滑適正ニ流レルト云フコトニアルノデアリマス、其ノ場合購買會ト云フヤウナモノガアリマスルト、切符制度ノ實施等ニ付キマシテ支障ノアル場合モアリマスノデ、成ベクハ斯様ナ組織デナク、普通ノ配給業者ニ依ツテ配給スルコトガ適當デアラウト云フゴトハ、商工省トシテモ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ是ハ原則デアリマシテ、一般ノ配給業者ヲ以テシテハ需要ノ充足ニ不便ナ部面ガアルコトハ、私共ト致シマシテモ認メテ居ルノデアリマス、只今御話ノ如ク鑛山等ニ於キマシテハ、鑛山ニ於ケル購買會ト云フモノガ、物資ノ配給ニ從來カラ當ツテ居リマシテ、又斯様ナ機構ガ鑛山ノ經營上必要デアルコトハ、十分私共承知シテ居ル積リデゴザイマス、隨ヒマシテ斯様ナ場合ニ於キマシテ、購買會等ガ物資ヲ配給サレコトニ付テハ、何等之ヲ變改スル意思ヲ持ツテ居リマセヌ唯實情トシテ商業組合等カラ壓迫ヲ受ケル

ト云フ御話デゴザイマシテ、是ハ具體的問
題トシテ考ヘタイト思ヒマスガ、吾々ノ方
針ト致シマシテハ、鑛山等ノ購買會ヲ壓迫
スル意思ハ毛頭持ツテ居リマセヌ、ソレダ
ケ御答辯申上ゲテ置キマス

○川俣委員 壓迫スル意思ハナイノデアリ
マスガ、實際ニ於テ配給セラレナケレバ、
結果ニ於テ何モナラナイト思フノデス、ソ
レデマダ商工省ハ認識ガ足ラナイト思フノ
デス、購買會ト云フモノハ、片方ハ農林省
ノ所管ニ關スル産業組合法ニ基イテ居リマ
スノデ、商工省カラ言フト、是ハドウモ厭
ヤナ存在ニ見エル傾キガアル、ソレカラ今
度鑛山側カラ言フト、農林省ニ陳情致シマ
シテモ、才前ハ商工省ノ所管デハナイカト
云フヤウナコトデ、兩方カラ問題ニサレナ
イヤウナ傾キガアリマシテ、物資ノ配給ニ
困難ヲ來シテ居ル實情ナノデアル、所ガ重
要物資資源開發ニ基ク鑛山ニ於キマシテ、
資物ガ圓滿ニ配給出來ナイト云フコトニナ
リマス、所期ノ鑛物ガ得ラレナイコトハ
是ハ明瞭デアリマス、殊ニ交通ノ不便ナ所
ニ鑛山ハ存在致スノデアリマスカラ、相當
ノ犧牲ヲ拂ツテ物資ヲ保管致シテ居リマセ
ヌト、或ル期間補給ガ出來ナクナルヤウナ
コトノアルノハ、是亦明瞭デアリマス、殊
ニ鑛山ノ開發ハ、商人ガ居ルヤウナ所デ出
來ルノデナク、全ク山ノ中ニ出來ルノデア
リマスカラ、初メカラ商人ノ存在ハナイ、
鑛山ガ初メカラ自腹ヲ切ツテ物資ヲ持ツテ
參リマセヌト、労働者ヲ集メルコトガ出來
ナイ、労働者ガ持ツテ行ツテモ駄目デ、
住宅ト食糧ト云フモノハ、モウ鑛山開發ノ
上ニ於テハ附物ナノデアアル、住宅ト食糧ナ
シニ鑛山開發ハ出來ナイノデアリマス、ソ

レニ對スル所ノ配給ハ、イヤ商業組合ヲ通
ジテヤルノダ、産業組合ヤ購買組合ノヤウ
ナモノデハ駄目ダト言ツテ、誰ガ之ヲ配給
スル、新シイ地帯ニ新シイ補給ヲシナケレ
バナラナイノデアリマスカラ、實績モ何モ
アリ得ナイ、ソレノミナラズ何モ配給ガ出
來ナイ爲ニ、新シイ鑛山ノ開發ニ困難ヲ來
シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ購買會ニ
對シテ、炭山ニ致シマシテモ、金山ニ致シ
マシテモ、米ナドハ相當ニ用意ヲシテ置カ
ナケレバナラヌノデアリマス、殊ニ交通ガ
不便デアリマスカラシテ、ドウ云フ事態ガ
起キマシテ交通ガ杜絶セヌトモ限ラナイノ
デアリマス、而モ其ノ要スル所ノ量ガ多イ
ノデアリマス、一万人モ居リマスル大鑛山
ニナリマス、一日ノ米ノ消費量ト云フモノ
ハ莫大デアリマス、或ハ味噌ニ致シマシ
テモ、其ノ他ノモノニ致シマシテモ同様デ
ス、アノ山間部ニ相當ナル消費量ヲ持ツテ
居ルノデアリマスカラ、ソレヲ補フダケノ
力ト云フモノハ、地方ニ於ケル所ノ商人ナ
ドニ於テ、到底其ノ資力ニ堪ヘ得ラレルモ
ノデハアリマセヌ、恐ラク私ノ知ツテ居ル
足尾ニ致シマシテモ、別子ニ致シマシテモ、
小坂ニ致シマシテモ、一年ノ消費額ハ百万
圓以上ヲ超エテ居ル、ソレヲ地方ノ小商人
ヤ中商人ガ賄ヒ得ラレルヤウナ資力ヲ持ツ
テ居リマセヌ、倉庫モ持ツテ居リマセヌ、
殊ニ坑夫ハ御承知ノ通り魚デアルトカ、肉
ト云フモノヲ相當消費シナケレバナラナイ、
坑内労働ニハ御承知ノ通り馬ヲ食フトカ、
或ハ犬ヲ食フト云フノデアリマスケレドモ、
是ハ脂肪ト蛋白質ヲ必要トスル爲デアリ
マス、魚肉ヲ食ヒ、牛肉ヲ食ハナケレバナ
ラヌガ、ソレハ高イカラ馬トカ犬ト云フ安

イモノヲ食フノデアリマス、サウ云フモノ
ヲ補給シナケレバ尙更「ヨロケ」ニ罹リ易
イ、隨テ牛肉デアルトカ、豚デアルトカ、
最モ安イ所ノ馬デアルトカ、犬デアルトカ、
サウ云フ肉食ヲシナケレバナラヌ、魚肉ヲ
食ハナケレバナラヌ、魚肉トカ、或ハ野菜
ノヤウナモノハ相當大ニ冷藏庫ヲ持ツテ、
ソレ等ノ物資ヲ保管シテ置カナケレバナラ
ヌ、其ノ保管ニ堪ヘ得ルヤウナ組織ガ現在
ナイ、鑛山自體ガ經營ノ責任ニ於テヤルヨ
リ外ナイ、是ガ購買會ノ生レテ居ル原因ナ
ノデアリマスカラ、此ノ點ヲ十分認識サレ
ナイト如何ニ一方ニ於テ鑛業開發ヲスルト
言ツテモ、振興部デ責任ヲ以テヤラナケレ
バ、恐ラク所期ノ目的ガ達成出來ナイト思
フ、ドウモ其ノ點ニ對スル認識ガ足ラナイ
ト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ鑛產局
長モ見エテ居リマスカラ、振興部長ト兩方
カラ御答辯ヲ願ヒタイ

○堀政府委員 鑛山ニ於キマシテ購買會ガ
必要デアルト云フコトハ、振興部ト致シマ
シテモ十分之ヲ承知シテ居ル積リデアリマ
ス、振興部ノ方デ配給機構ノ整備要綱ト云
フヤウナモノヲ作りマシタ際ニモ、別段產
業組合ガドウトカ云フヤウナ氣持デハナイ
ノデアリマシテ、同じ消費者ニ對スル配給
系統ガ、商業者モアレバ組合モアル、都市
ニ於ケルガ如キ狀況ニナツテ居リマスコト
ハ、兎角僅カノ物資ノ配給ニ圓滑ヲ缺ク處ガ
アリマス、斯様ナ場合ニハ、新シク購買會等
ガ出來ルコトヲ成ベク見合ハシタラドウカ、
從來アルモノノ處置ニ付テハ別問題デゴザ
イマスガ、新シク購買會等ガ出來ルコト
ニ付テ、考慮ヲ要スルダラウト云フコトハ
考ヘテ居リマス、併シ鑛山ノ如キハ御話ノ

通りデゴザイマス、普通ノ商人ヲ以テシテ
ハ到底配給ノ出來ナイ部面ノアルコトハ十
分認メテ居リマシテ、實ハ先般配給機構整
備要綱ニ付キマシテ、經濟部長會議デ私ガ
説明致シマシタ時ニモ、特ニ例ヲ擧ゲマシ
テ、鑛山ニ於ケル購買會等ノ如キハ別デア
ル、斯様ナモノハ必要ニ依ツテ出來テ居ル
モノデアルカラ、今後トモ十分ニ活動ガ出
來ルヤウニシナケレバナラヌト云フ意味ノ
コトヲ、附加ヘテ申シマシタヤウナ關係デゴ
ザイマシテ、只今御指摘ノ如キ過ツタ方針
デ鑛山ノ購買會ニ對處シヨウトハ考ヘテ居
リマセヌ、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○鈴木(英)政府委員 鑛山ノ物資ノ配給ニ
付キマシテ、大體ノ方針ハ只今振興部長カ
ラ御説明申上ゲタ通りデゴザイマスルガ、
尙ホ其ノ方針ト言ヒナガラ、具體的ニ山ニ
於キマシテ時々鑛山ノ物資配給ガ、他ノ商
業團體トカ或ハ産業組合ノヤウナ方面ニ取
ラレルトカ云フノデ、非常ニ鑛山ガ困ツテ
居ルト云フヤウナ事例ガアルト云フコトヲ
從來カラ聞カス譯デハナイノデアリマス、
鑛產當局ト致シマシテ、此ノ點ハ甚ダ遺憾
トシテ居ルノデアリマス、鑛山開發ノ最モ
重要ナ部面デアル物資ノ配給、労働力ノ補
給ト云フコトニ付キマシテ、今後絶對的ニ
從來ノ方法通りデハ駄目ダト考ヘテ居ルノ
デアリマス、何カ特別ノ配給組織ヲ坑夫ニ
對シテハ與ヘテ、サウシテ物資ノ配給ヲ豐
カニシテ、鑛山ノ坑夫ノ充足ヲ圖ラナケレ
バ駄目ダト云フコトハ十分承知シテ居リマ
スノデ、尙ホ一層此ノ點ニ關シマシテ具體
的ノ方法ヲ確立スルヤウニ研究シタイト思
ツテ居ル次第デアリマス

○川俣委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○松田委員長 是デ質問ヲ終了致シマシタ、是ヨリ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案、臨時陸軍材料資金特別會計法中改正法律案、昭和十五年法律第六十九號中改正法律案、昭和十六年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案、以上四案ヲ一括シテ討論ニ入りマス——宇賀君

○宇賀委員 私ハ只今議題ニナリマシタ四ツノ法案ニ付テ申述ベル前ニ、一言今同ノ十六年度ニ於ケル一般會計追加、ソレカラ臨時軍事費等ノ數字ヲ少シ申上ゲテ見タイト思ヒマス、一般會計本豫算ハ六十八億六千三百二十六萬圓、之ニ追加十一億三千八百一十萬圓、合セマシテ七十九億九千五百萬圓ニナリマシテ、之ニ明年ノ一月末マデニ於ケル臨時軍事費四十八億八千萬圓ヲ加ヘマスト、百二十八億七千五百萬圓ニナリマス、此ノ中通抜ケ勘定ト致シマシテ六億七千萬圓アルコトハ勿論デアリマス、此ノ外特別會計四十幾ツノモノヲ重複勘定ヲ差引イデ見マス、總體デ大體百八十億圓餘ノ龐大ナル豫算ニ上ラウカト思ツテ居リマス、其ノ一般會計ノ臨時軍事費ヲ寄セマシタ百二十八億七千五百萬圓ノ中、軍事費ト致シマシテハ一般會計ノ中デ三十二億五千萬圓、ソレカラ臨時軍事費四十八億八千萬圓デアリマスカラ、丁度八十一億三千餘萬圓ガ軍事費デゴザイマス、ソレカラ文治費ト致シマシテハ其ノ残りノ四十七億七千萬圓デアリマスガ、其ノ中ニハ軍事費又ハ準軍事費ニ入レテモ宜カラウト思フヤウナモノモ幾分入ツテ居リマス、サウシテ右ノ百二十八億七千五百萬圓中ノ財源トシテハ、普通歳入ハ四十九億一千六百萬圓、前年

度ノ剩餘金繰延額ガ八千萬圓デゴザイマスルカラ、ソレヲ差引キ致シマス、其ノ殘額ハ全部公債デ賄ハレルコトニナリマス、即チ一般會計ヲ寄セマスルト三十億三萬圓ニ、特別會計ノ公債發行額ガ五億九千三百餘萬圓、臨時軍事費ガ三十九億七千七百餘萬圓ニナリマシテ、丁度新シク公債ヲ發行スルニ要スル額ハ七十五億七千四百餘萬圓ニナルノデアリマス、此ノ外ニ今議會ニ於テ成立致シマシタ臨時軍事費追加十億圓ト云フモノガアリマス、其ノ中ノ大部分ノ九億九千餘萬圓ト云フモノハ、公債デ發行スルコトニナリマシテ、是ハ恐ラクハ此ノ中ノ一部ガ十六年度ニ互ツテ發行サレルノデアリマセウカラ、之ヲ假ニ十六年度ノ公債發行額ト見テ兩者寄セマス、八十五億圓ノ巨額ニ達スルノデアリマス、元來既ニ日本ノ國債既發行額ハ一月末マデニ二百八十七億四千九百餘萬圓、斯ウナツテ居リマシテ、恐ラクハ本年ノ上半期末頃ニハ三百億突破ノ巨額ニ上ラウカト思ヒマス、隨分豫算モ大キイ、隨テ公債ノ發行額モ大キイノデゴザイマスカラ、大藏當局ト致シマシテハ可ナリ公債消化ニ付キマシテハ頭ヲ悩マスコトダラウト思ヒマス、ソレデ昭和十二年ノ公債發行額ノ内ドレダケ消化ガ出來タカト云ヘバ五五%デアリマス、十三年度ハ八七%、十四年度ニハ八九%トゴシ、ト年々公債消化ノ額ガ上ツテ來タコトハ洵ニ慶賀ノ至リデアリマスガ、十五年度ニナリマシテ各種ノ事情カラ七八%ニ低下致シタノハ洵ニ私共残念ニ思ツテ居リマス、今度ノ大藏省當局ノ目算カラ申シマス、百三十五億圓ノ貯蓄獎勵ト云フコトニ目標ヲ立テマシテ、此ノ方面ニ向ツテ全力ヲ注イデ邁

進スルト云フコトデアリマシテ、貯蓄組合法デアルトカ、郵便貯金限度ノ引上デアルトカ、或ハ郵便切手貯金ノ復活デアルトカ、貯蓄債限度ノ擴張デアルトカ、總動員法ノ十一條ヲ改正スルトカ、爲替管理法ヲ強化サセル等、各種ノ方法ヲ講ジテ、總テ今後ノ財政ヲ圓滿ニ實行スルヤウナ方面ニ骨ヲ折ルヤウニ致シマス、勿論極メテ必要ナコトデアリマス、目下日本國家ノ總力ヲ擧ゲテ戰爭ニ從事シ、所謂高度國防國家ノ建前カラシテ、是ダケノ大キナ豫算ノ實行ハ、間違ナク遂行サセルヤウニ念願致シテ居リマス、隨テ私共ト致シマシテハ、出來ルダケ大藏省ニ協力スルノミナラズ、國民一般モ一致ノ志ヲ以テ、此ノ大キナ豫算ヲ實行シ、同時ニ是ダケノ大キナ公債發行ニ間違ナイヤウニシテ進ンデ行カウト思フノデアリマス、併シナガラ長イ戰爭ヲスルノニハ、先ツ物資ガ必要デゴザイマスルカラ、一面斯ウ云フ風ニ金ヲ使フト同時ニ、昨今ノ物資不足或ハ雇傭人員ガ少クナツテ來タヤウナ點カラ顧ミマシテ、成ベク今後ハ國家ノ生産力ヲ十分發達セシメ、サウシテ物資ヲドシ、作リマシテ、國民ノ生活ヲ裕カニスルヤウニ圖リ、必要ナル所ノ戰費ヲ賄ツテ行キ、或ル必要ナル場合ニ於キマシテハ、國民生活ヲ切下ゲルノモ亦已ムヲ得ザル時期ガアルカトモ思ハレマス、サウ云フコトガアツテモ吾々國民ハ何等ノ不平モナク、政府當局ノ指導ノ下ニ進ンデ行カウト思ヒマス、斯ウ云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居リマスルカラ、此ノ四案ノ法律案ノ實行ニ付キマシテハ、私共ハ何等ノ顧慮スル所ナク無條件ニ之ニ賛成ヲ致シ、此ノ成立ヲ希望スル者デアリマス、意見ヲ開陳

致シマス

○松田委員長 樋口君

○樋口委員 只今御上程ニナツテ審議サレテ居ル法律案ニ對シマシテ、連日各委員ヨリ質疑應答ヲ重ネラレ、色々ノ御希望或ハ御注意等ガアリマシタ、政府ニ於テハ之ヲ考慮ノ中ニ入ラレテ、オヤリ下サルコトヲ希望シテ、私共ハ此ノ法案全部ニ對シマシテ賛成デアリマシテ、只今宇賀君ノ御述ベニナリマシタノニ私同感デゴザイマス

○松田委員長 只今宇賀君、樋口君カラ御意見ガアリマシタガ、他ニ御意見アリマセヌカ

〔アリマセヌ〕ト呼ブ者アリ

○松田委員長 ソレデハ討論ハ是デ終局致シマシタ、是ヨリ採決ニ入リマスガ、金高モ相當大キイノデゴザイマスカラ、原案ニ對シテ贊成ノ方ノ御起立ヲ願ヒマス

〔議員起立〕

○松田委員長 全會一致ヲ以テ可決確定致シマシタ、仍テ各案ハ何レモ原案通り可決致シマシタ一寸御挨拶ヲ申上ゲマス、丁度一箇月ニ互リマシテ、本委員會ガ開カレマシテ、只今ハ宇賀君カラモ御説ノアツタ如ク、八十億ニ近イ公債、件數ニ致シマシテハ十三件ニ互ツテ、或ハ繰入金ノ増額、借入金ノ増額等ガアリマシテ、是等モ滞リナク此ノ委員會ヲ通過致シマシタノデ、私慣レナガラモ各位ノ御支援ニ依リマシテ、此ノ職責ヲ果スコトヲ得マシタコトヲ有難ク感謝致シマス〔拍手〕本委員會ハ之ヲ以テ終リマス

午後四時三十分散會

昭和十六年二月二十四日印刷

昭和十六年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局